

令和3年度全国学力・学習状況調査結果の考察

苫小牧市

公表

令和3年10月5日

苫小牧市教育委員会 教育部 指導室

目次

○令和3年度全国学力・学習状況調査の苫小牧市における調査結果

・調査の概要	1
・小学校調査 調査結果概況 ～正答数分布グラフ～	2
・小学校国語科	3
・小学校算数科	3
・中学校調査 調査結果概況 ～正答数分布グラフ～	4
・中学校国語科	5
・中学校数学科	5

○令和3年度全国学力・学習状況調査児童質問紙（小学6年児童）調査の結果と考察

・学習に対する興味・関心等（国語）	6
・学習に対する興味・関心等（算数）	8
・学習に対する興味・関心等（英語・道徳）	10
・規範意識・自己有用感	11
・生活習慣・学習習慣	13
・地域や社会への関心	15
・ICTの活用	16
・学校生活	17
・休校期間中	19
・調査問題の解答時間	20

○令和3年度全国学力・学習状況調査生徒質問紙（中学3年生徒）調査の結果と考察

・学習に関する興味・関心等（国語）	21
・学習に関する興味・関心等（数学）	23
・学習に関する興味・関心等（英語・道徳）	25
・規範意識・自己有用感	26
・生活習慣・学習習慣	28
・地域や社会への関心	30
・ICTの活用	31
・学校生活	32
・休校期間中	34
・調査問題の解答時間	35

○令和3年度全国学力・学習状況調査学校質問紙調査の結果と考察

・学力向上に向けた取組	36
・ICT機器の活用	37

令和3年度全国学力・学習状況調査の苫小牧市における調査結果

令和3年10月5日 苫小牧市教育委員会

- ・平均正答率については、四捨五入した整数値で公表しております。
- ・平成30年度まで国語と算数・数学は、A問題（主として知識に関する問題）、B問題（主として活用に関する問題）に分かれて実施されていましたが、平成31年度調査より知識・活用を一体的に問う調査問題と変更されました。そのため、全国平均との比較（平均正答率）については平成31年度分と令和3年度分のみ結果となります。
- ・令和2年度全国学力・学習状況調査は新型コロナウイルス感染症に係る影響のため中止となり、児童生徒質問紙のみ実施しました。令和2年度の数値は参考値となります。

調査の概要

- 1 実施日
令和3年5月27日（木）
- 2 調査対象
 - (1) 小学校第6学年
 - (2) 中学校第3学年
- 3 対象学校数及び児童生徒数

	小学校		中学校	
	児童数	学校数	生徒数	学校数
苫小牧市	1, 381	23	1, 298	15
北海道	36, 456	972	34, 700	567

- 4 調査事項
 - (1) 教科に関する調査
小学校…国語及び算数の2教科
中学校…国語及び数学の2教科
 - (2) 生活習慣、学習環境等に関する質問紙調査
 - ①児童生徒に対する調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等）
 - ②学校に対する調査（指導方法、教育条件の整備等）

苫小牧市の小・中学校における全体的な傾向

- ☆中学校の国語の平均正答率は全国平均とほぼ同等となっています。
- ☆児童生徒質問紙から「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりできた」と回答した割合が全国平均を上回っており、考え、議論する道徳の授業の充実がみられます。
- ☆小・中学校ともに、「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と回答した割合が、全国平均を上回っています。
- ☆学校質問紙から、家庭学習に関する取組状況が、全国平均を大きく上回っています。
- ★小学校の国語の平均正答率は全国平均と2%未満の差となっています。
- ★小・中学校ともに、算数・数学の平均正答率が全国平均を3%以上下回っています。
- ★児童生徒質問紙から、小・中学校ともに1日当たりのテレビゲームの利用時間（コンピュータゲーム、スマートフォンを使ったゲームも含む）が全国平均を上回っています。

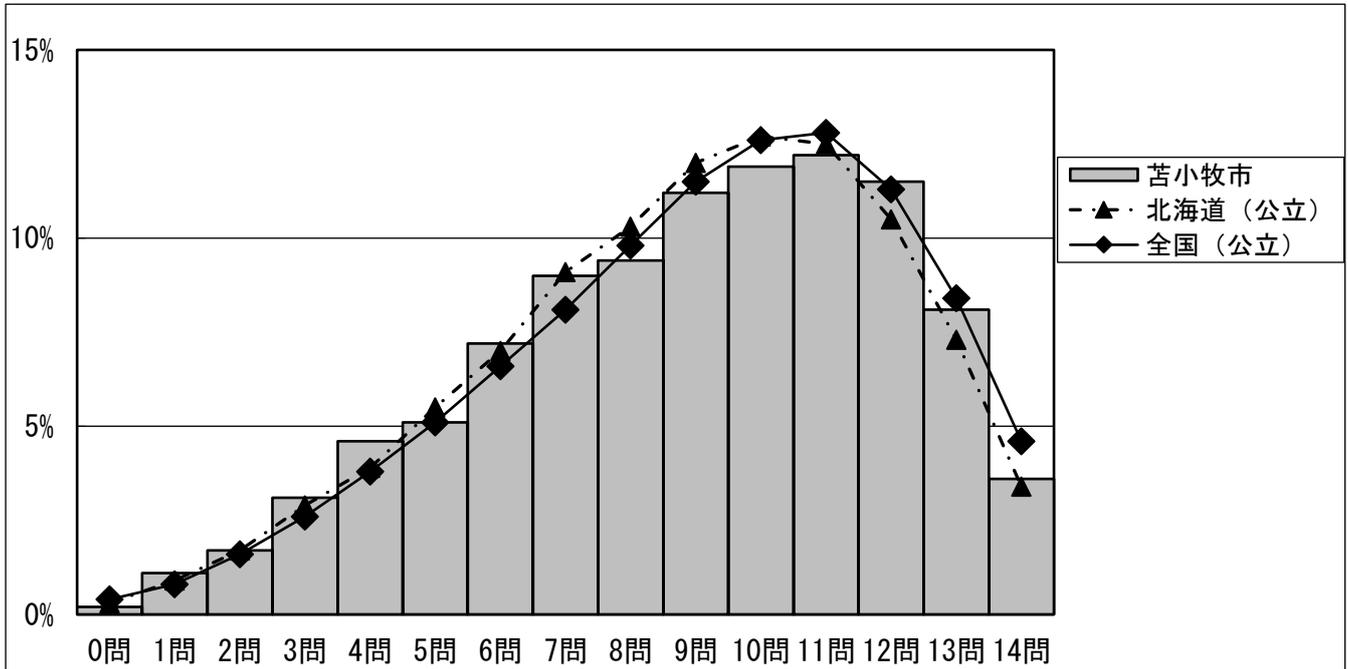
令和3年度全国学力・学習状況調査

小学校調査

調査結果概況 [国語]

苫小牧市教育委員会—児童

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



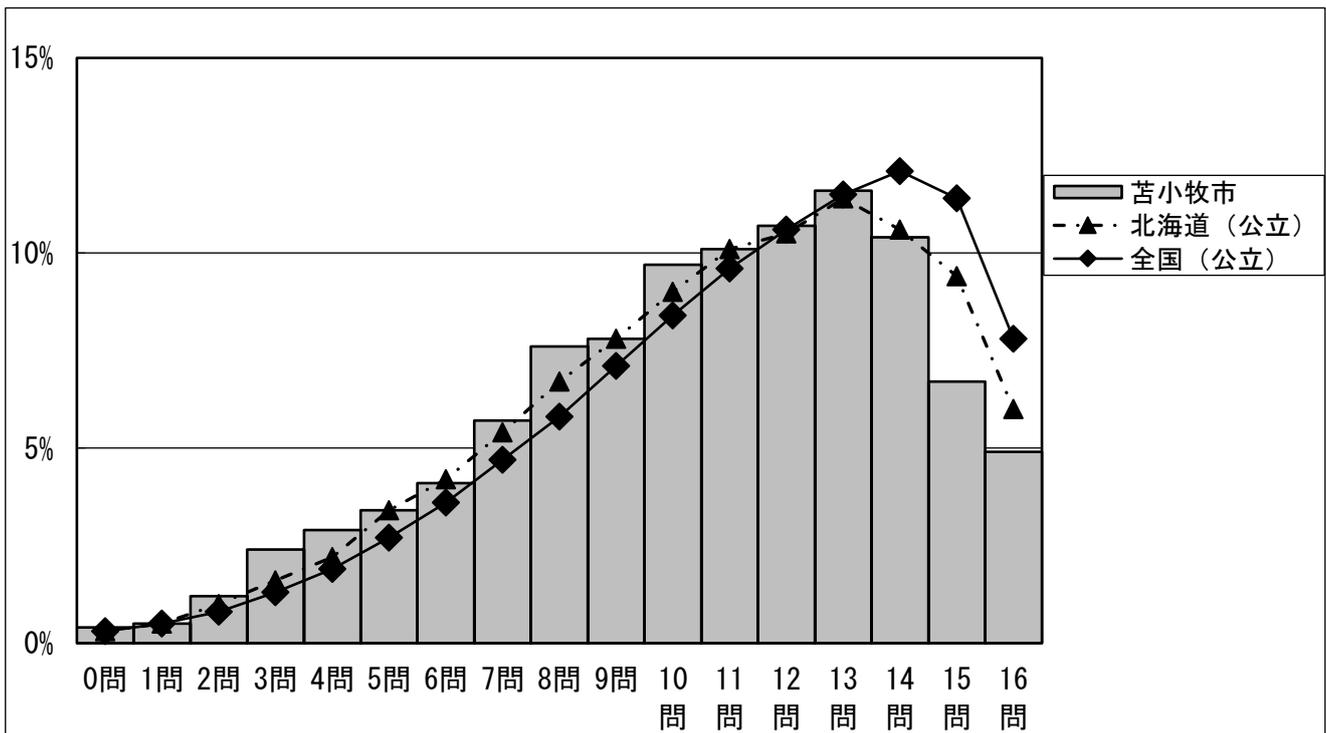
令和3年度全国学力・学習状況調査

小学校調査

調査結果概況 [算数]

苫小牧市教育委員会—児童

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



小学校 教科に関する調査結果

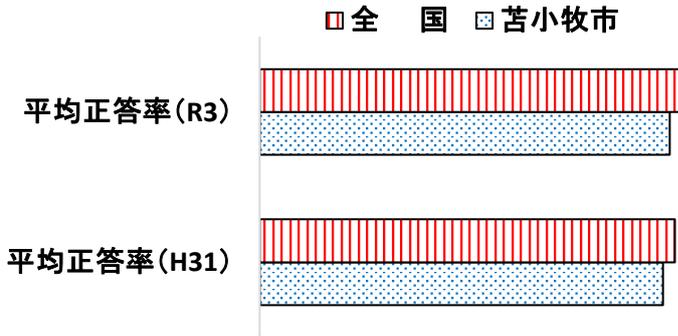
国語（小学校） 令和3年度結果

	平均正答数 (問/出題数)	平均正答率 (%)
苫小牧市	8.9 / 14	63
北海道	8.9 / 14	63
全 国	9.1 / 14	64.7

平均正答数
出題数に対する正答数の平均値

平均正答率
問題数を100%とした時の正答数の割合

苫小牧市と全国平均との差(平均正答率)



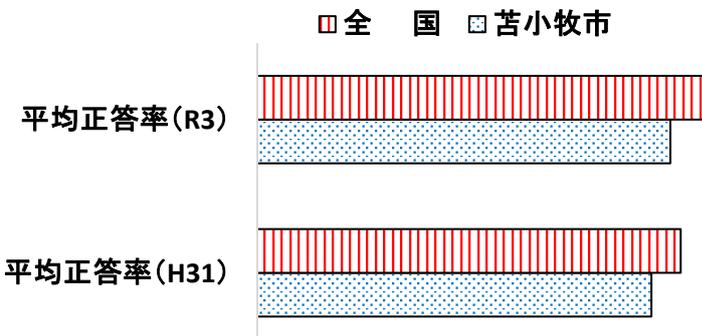
分析と考察

- 「話すこと・聞くこと」では、話し手の話を聞き、目的や意図に応じて、資料を使って話す内容を考えることについて、全国平均を大きく下回っており課題がみられます。
- 「書くこと」では、自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考えて書くことについて、全国平均を上回っています。
- 「読むこと」では、文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握しながら読むことについて、全国平均を下回っており課題がみられます。

算数（小学校） 令和3年度結果

	平均正答数 (問/出題数)	平均正答率 (%)
苫小牧市	10.4 / 16	65
北海道	10.8 / 16	67
全 国	11.2 / 16	70.2

苫小牧市と全国平均との差(平均正答率)



分析と考察

- 「数と計算」では、特に、除法に関する問題について、正答率が低く課題がみられます。
- どの領域においても、全国平均を下回っています。特に、図形の面積の求め方やデータを二次元の表に分類整理することについて、全国平均を大きく下回っており課題がみられます。
- 「変化と関係」では、速さを求める除法の式と商の意味を理解することについて、課題がみられます。

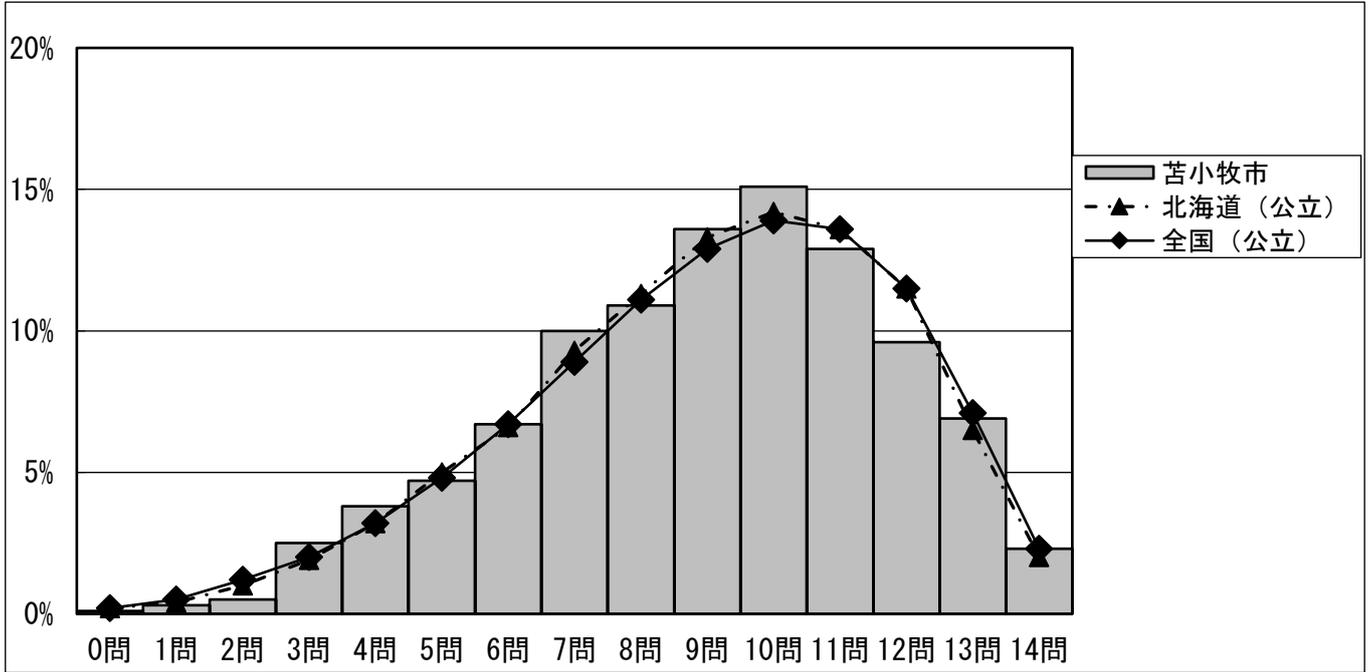
令和3年度全国学力・学習状況調査

中学校調査

調査結果概況 [国語]

苫小牧市教育委員会—生徒

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



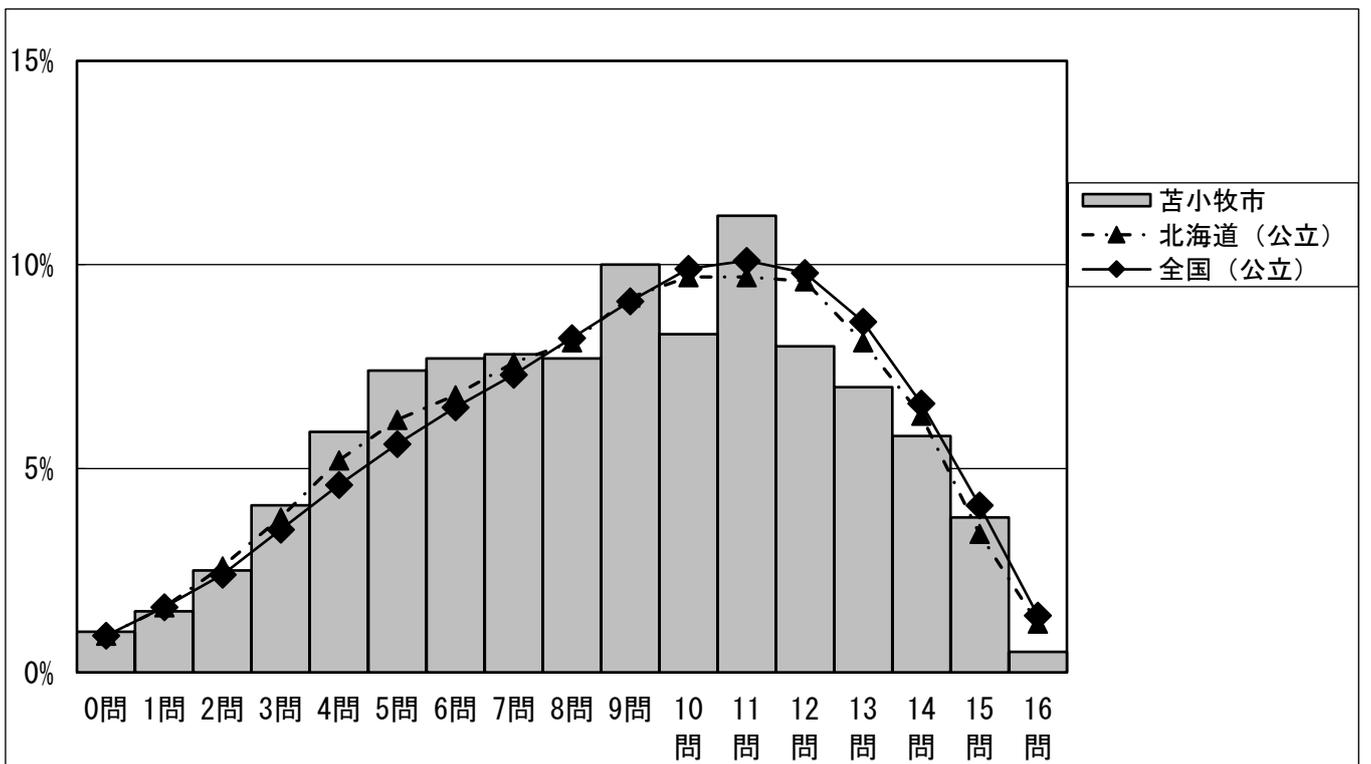
令和3年度全国学力・学習状況調査

中学校調査

調査結果概況 [数学]

苫小牧市教育委員会—生徒

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



中学校 教科に関する調査結果

国語（中学校） 令和3年度結果

	平均正答数 (問/出題数)	平均正答率 (%)
苫小牧市	9.0 / 14	64
北海道	9.0 / 14	65
全国	9.0 / 14	64.6

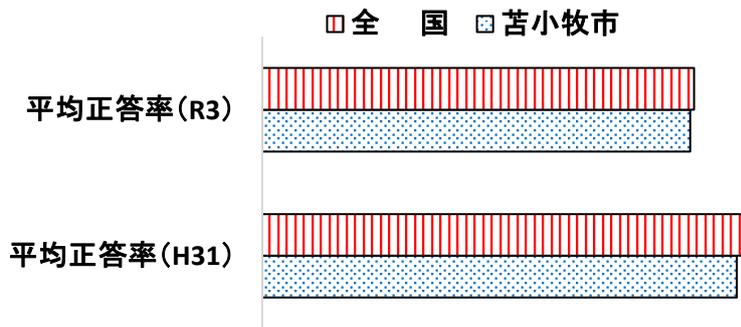
平均正答数

出題数に対する正答数の平均値

平均正答率

問題数を100%とした時の正答数の割合

苫小牧市と全国平均との差(平均正答率)



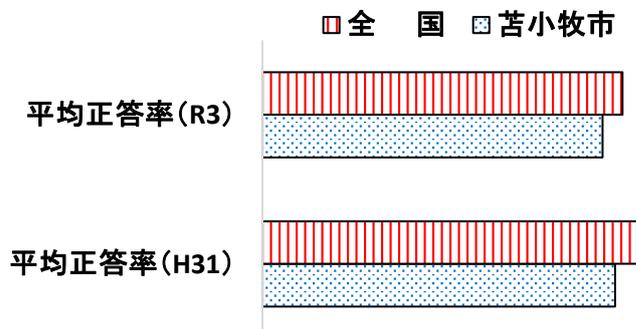
分析と考察

- 「話すこと・聞くこと」では、話し合いの話題や方向性を捉えること、質問の意図を捉えることについて、全国平均を上回っています。
- 「読むこと」では、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことについて、全国平均を下回っており課題がみられます。
- 「書くこと」では、書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くことについて、全国平均を上回っています。

数学（中学校） 令和3年度結果

	平均正答数 (問/出題数)	平均正答率 (%)
苫小牧市	8.7 / 16	54
北海道	8.9 / 16	56
全国	9.1 / 16	57.2

苫小牧市と全国平均との差(平均正答率)



分析と考察

- 「資料の活用」では、与えられたデータから中央値を求めることについて、全国平均を上回っています。
- 「数と式」では、目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することについて、全国平均を大きく下回っており課題がみられます。
- すべての領域で、説明を記述することについて、無解答率が高い傾向がみられます。

令和3年度全国学力・学習状況調査児童質問紙（小学6年児童）調査の結果と考察

苫小牧市教育委員会

小学6年児童

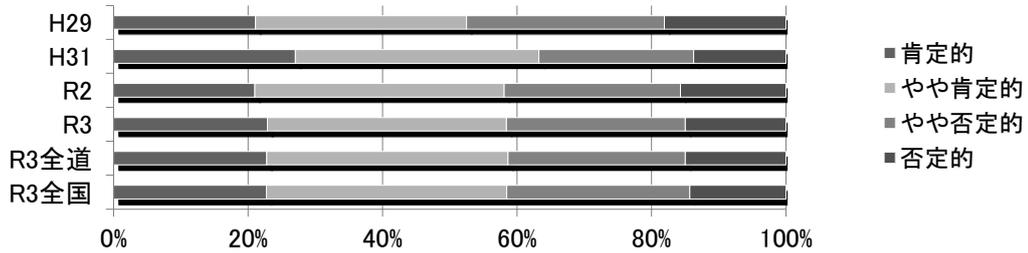
・令和2年度は参考値です。

- ①：肯定的な回答（している・当てはまる・そう思う）
- ②：やや肯定的な回答（どちらかといえば、している・当てはまる・そう思う）
- ③：やや否定的な回答（あまりしていない、どちらかといえば、当てはまらない・そう思わない）
- ④：否定的な回答（まったくしていない・当てはまらない・そう思わない）

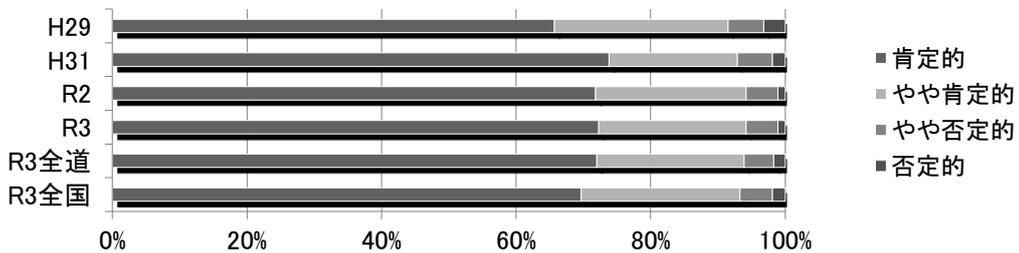
学習に対する興味・関心等 （国語）

【考察】「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしている。」と回答した割合が全国平均を上回っている。日常の授業において、自分の考えを表現する場面を意図的に設定するなどの取組を通して、児童の力を伸ばしていることがうかがえる。

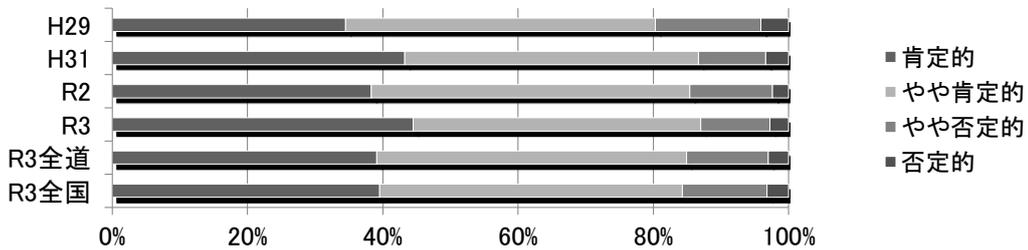
43 国語の勉強は好き。



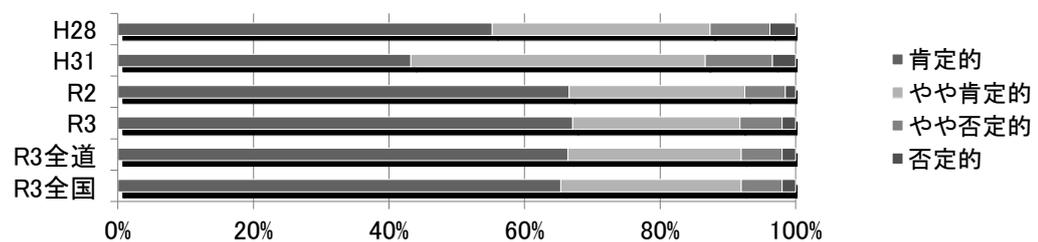
44 国語の勉強は大切だと思う。



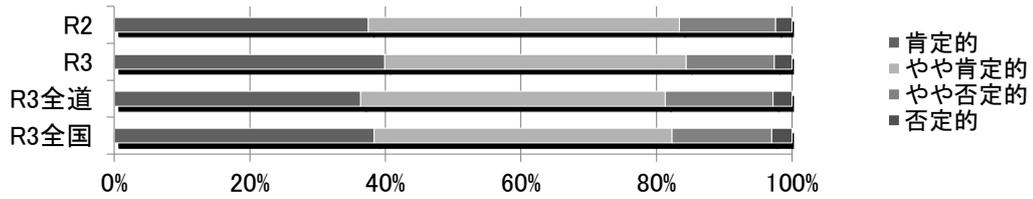
45 国語の授業の内容はよく分かる。



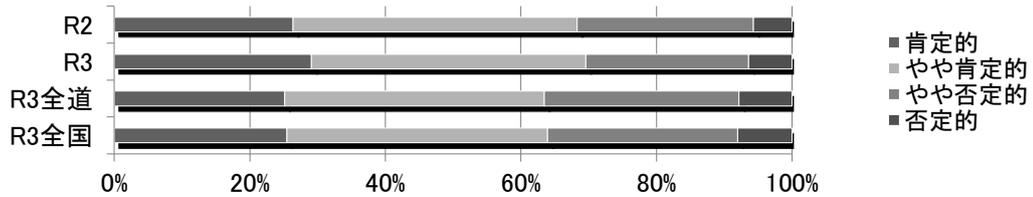
46 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



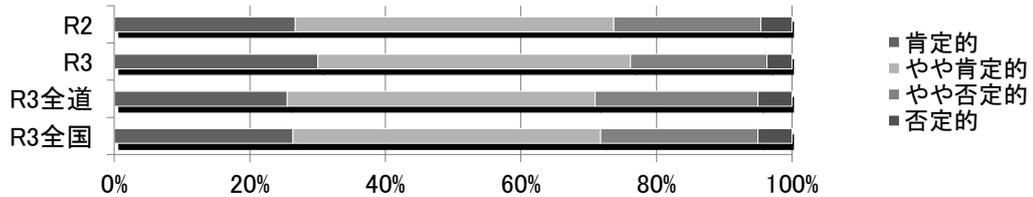
47 国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしている。



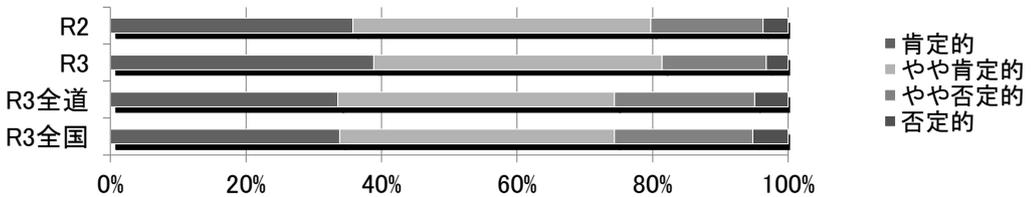
48 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしている。



49 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしている。

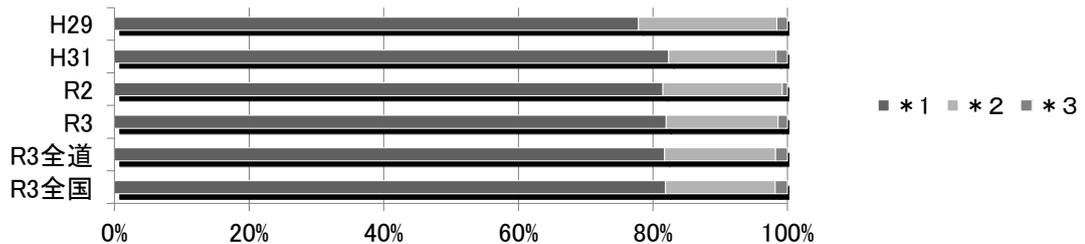


50 国語の授業では、目的に応じて、文章を読み、感想や考えをもったり自分の考えを広げたりしている。



51 今回の国語の問題について、文章を書く問題でどのように解答したか。

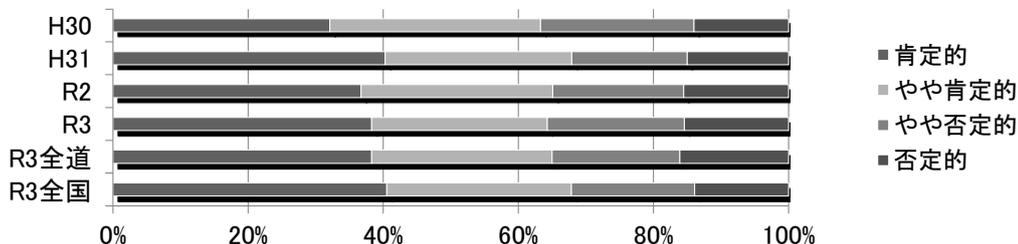
- * 1 : 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
- * 2 : 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた。
- * 3 : 書く問題は全く解答しなかった。



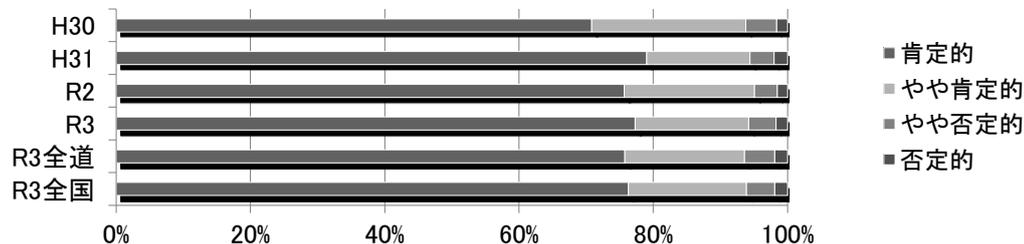
**学習に対する興味・関心等
(算数)**

【考察】 「算数の勉強は大切だと思う。」と回答した割合は90%以上であるが、「算数の勉強は好き。」と回答する割合は約60%となっている。算数の日常的な授業において「わかった」「できた」「楽しい」を実感させ、児童自身に達成感を感じさせる振り返りの充実が求められる。

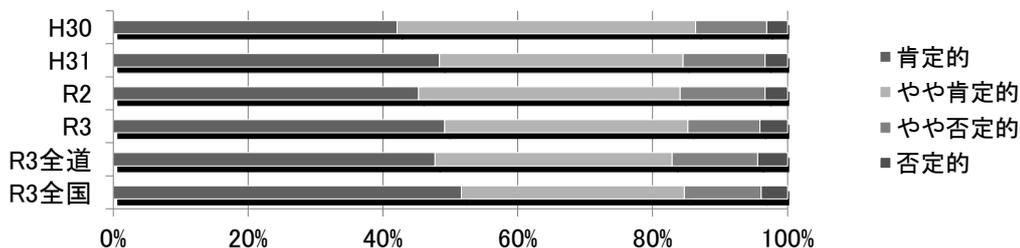
52 算数の勉強は好き。



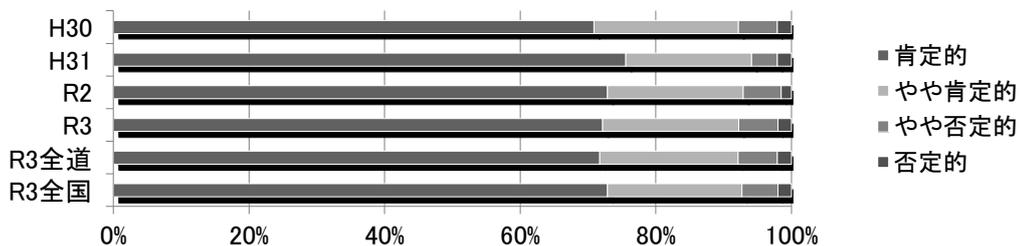
53 算数の勉強は大切だと思う。



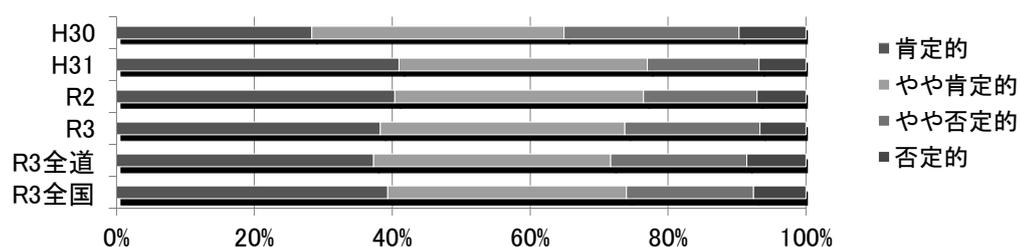
54 算数の授業の内容はよく分かる。



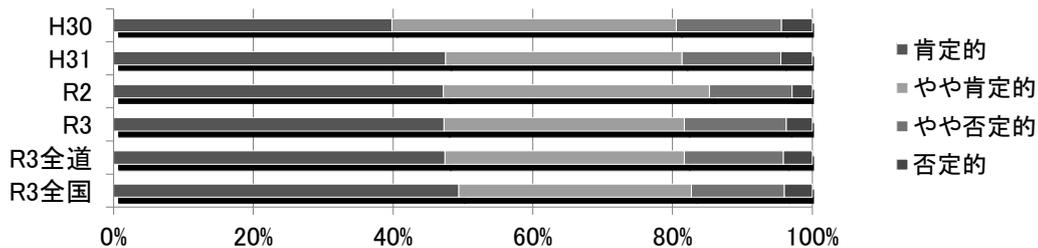
55 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



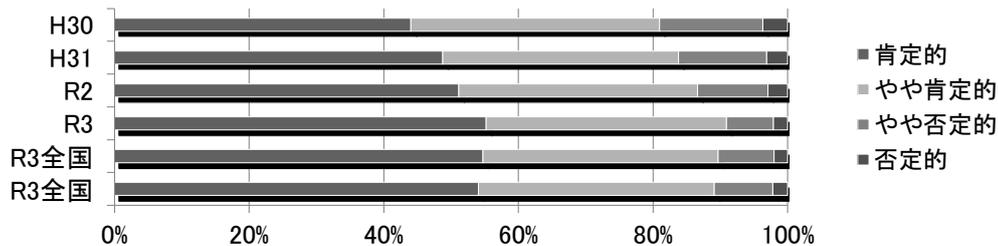
56 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。



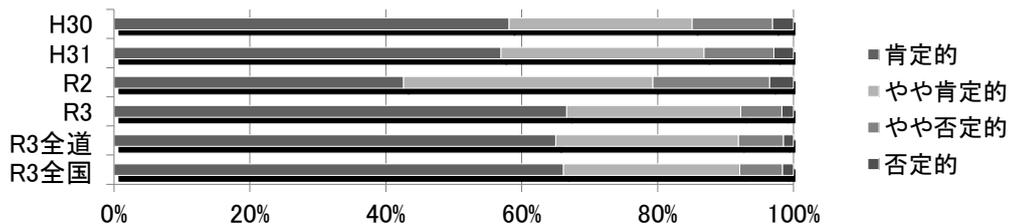
57 算数の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法で考える。



58 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。

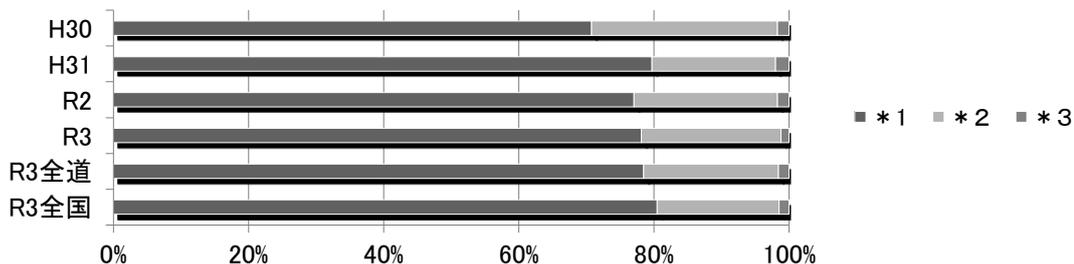


59 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。



60 今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題でどのように解答したか。

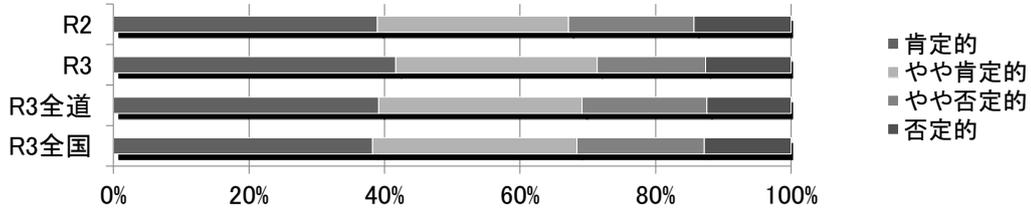
- * 1 : 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
- * 2 : 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた。
- * 3 : 書く問題は全く解答しなかった。



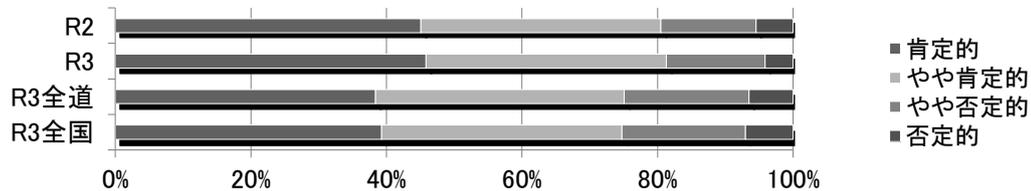
**学習に対する興味・関心等
(英語・道徳)**

【考察】 「英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができた。」と回答した割合が全国平均を上回っている。言語活動を通じて自分の考えや気持ちを表現する場面を取り入れている成果がみられる。また、「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。」と回答した割合も全国平均を上回っている。考え、議論する道徳の充実が図られていることがうかがえる。

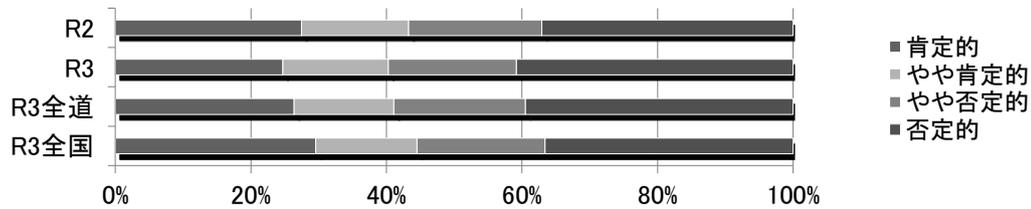
61 英語の勉強は好き。



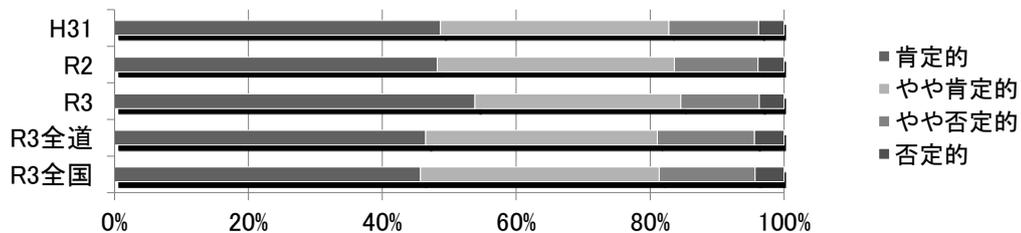
62 5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができた。



63 これまで、学校の授業以外で英語を使う機会があった。(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど)



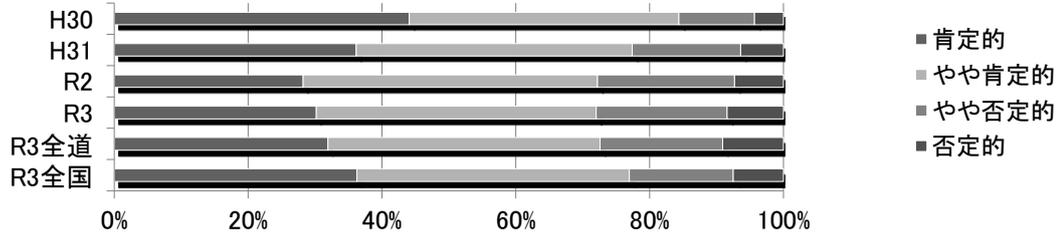
42 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。



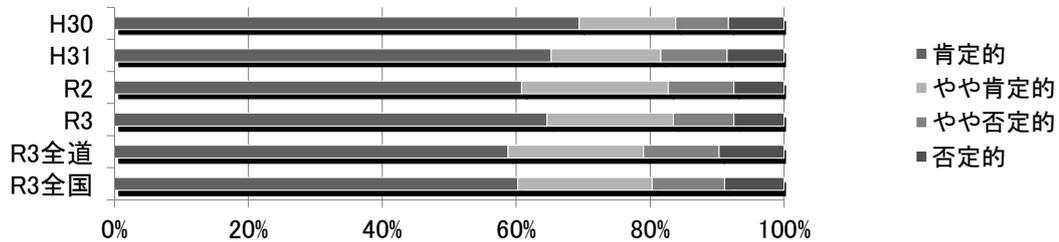
規範意識・自己有用感

【考察】 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。」と回答した割合が全国平均を大きく上回っており、各学校におけるいじめ等の問題に対する取組の成果がみられる。一方で、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。」と回答した割合が、全国平均を下回っていることから、児童が失敗を恐れず挑戦することができる環境を作り、自己有用感を高めることが必要である。

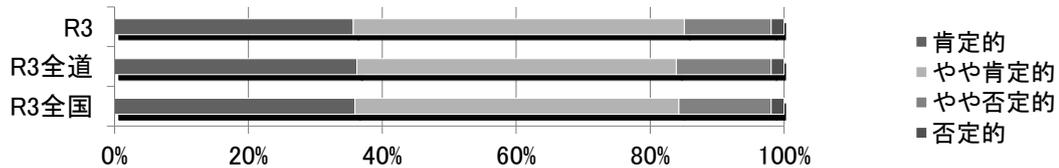
6 自分には、よいところがあると思う。



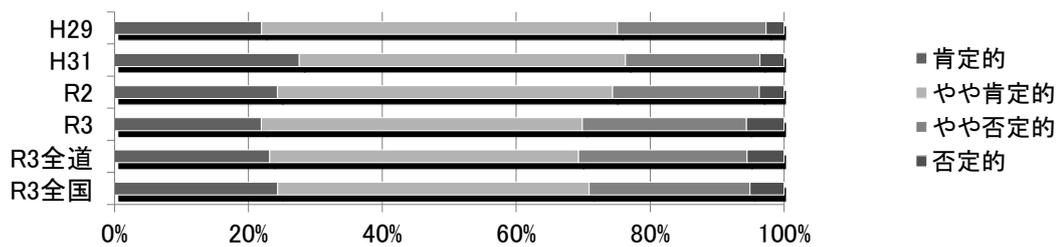
7 将来の夢や目標を持っている。



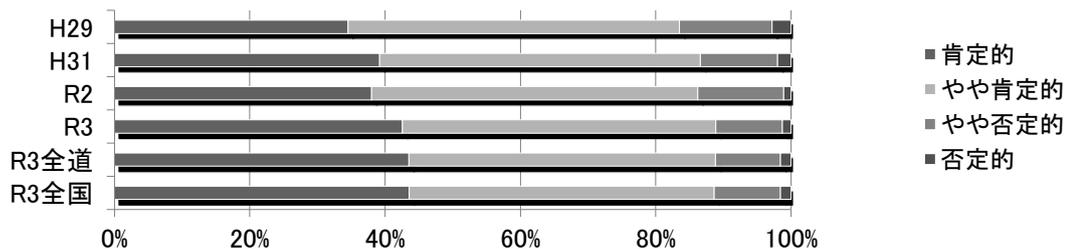
8 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。（新設問）



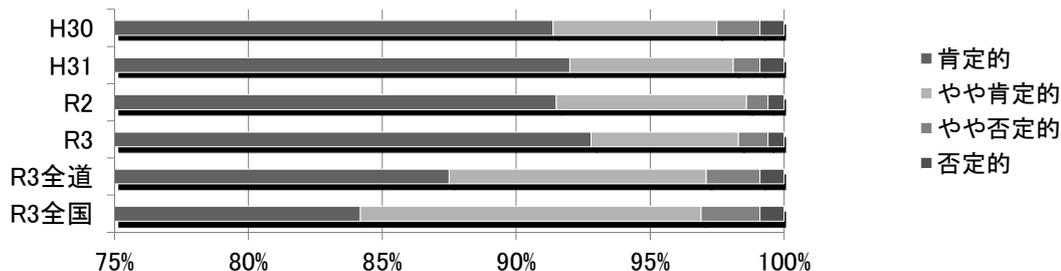
9 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。



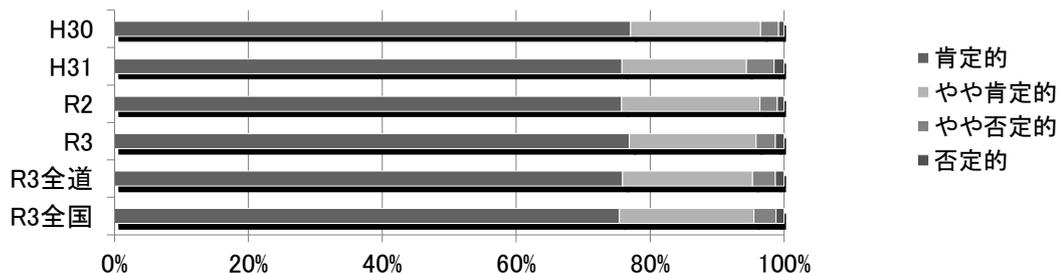
10 人が困っているときは、進んで助けている。



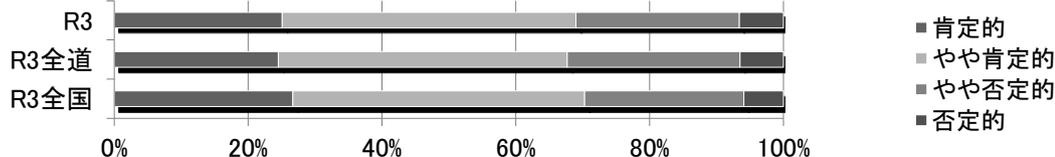
11 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。



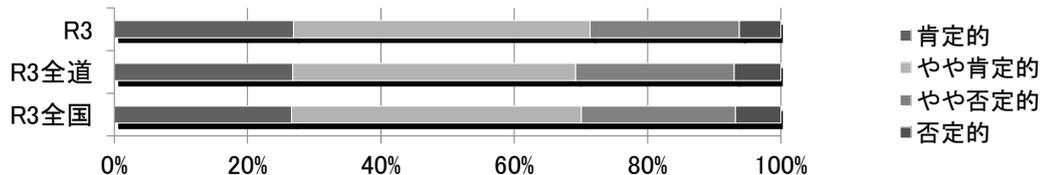
12 人の役に立つ人間になりたいと思う。



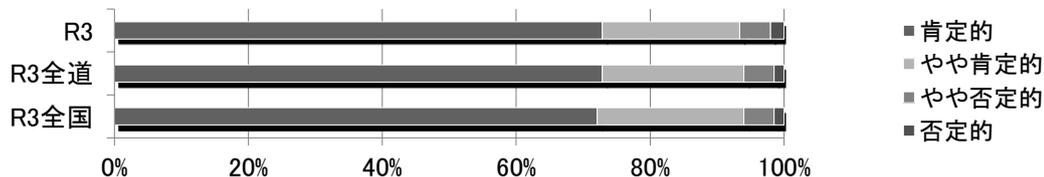
14 自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる。(新設問)



15 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。(新設問)



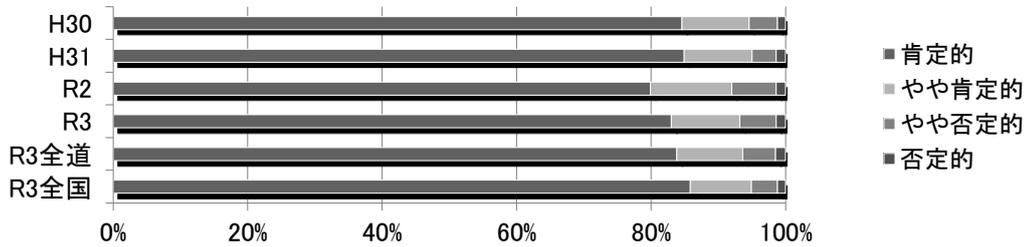
16 友達と協力するのは楽しいと思う。(新設問)



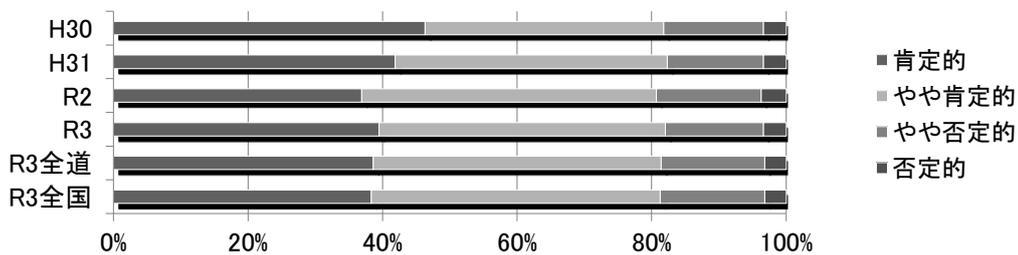
生活習慣・学習習慣

【考察】 「1日当たりのテレビゲームの利用時間」が「1時間以上」と回答した割合は、80%以上である。『情報機器利用の約束』を様々な場面で周知し、ゲームやスマホ等の利用について継続的に啓発し、児童の健やかな生活習慣の定着を図ることが求められる。

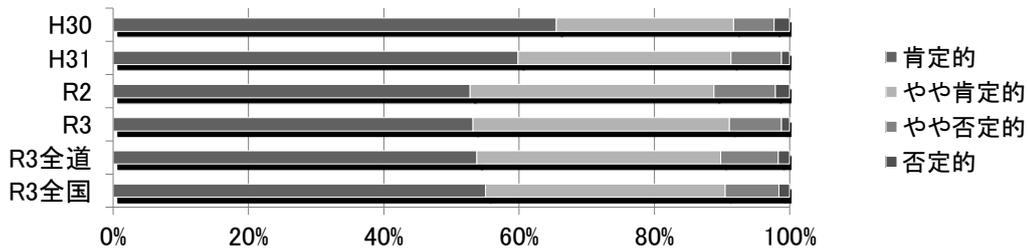
1 朝食を毎日食べている。



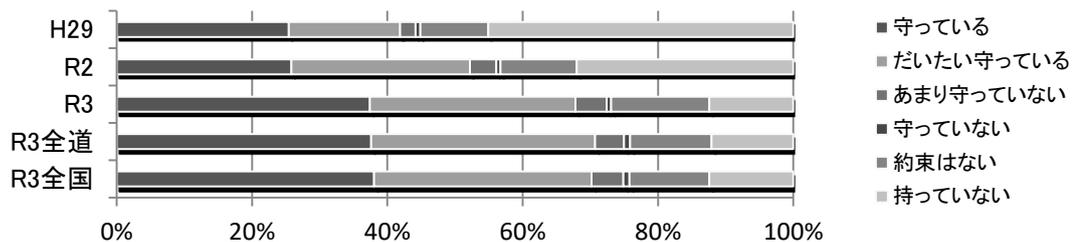
2 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。



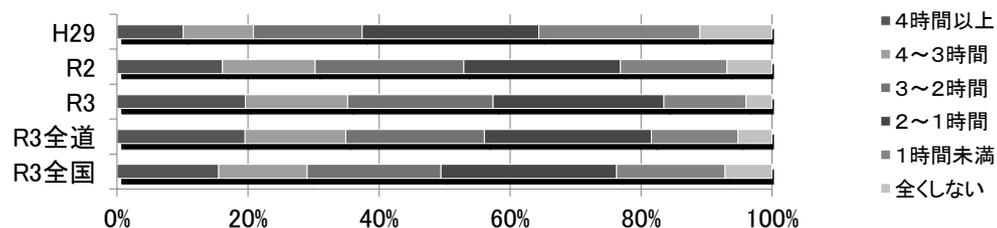
3 毎日、同じくらいの時刻に起きている。



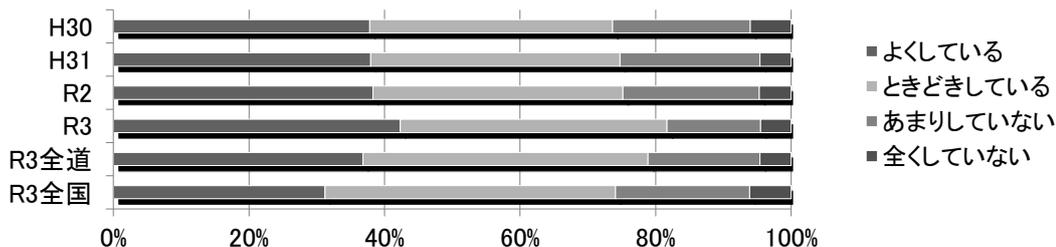
4 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。



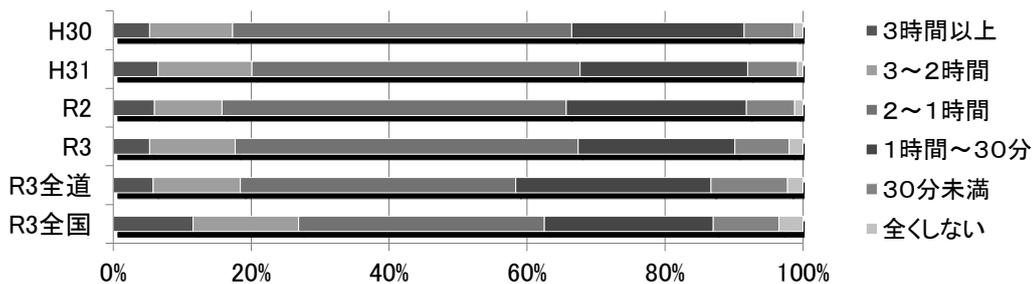
5 普段（月～金）、1日当たりのテレビゲームの利用時間。（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）



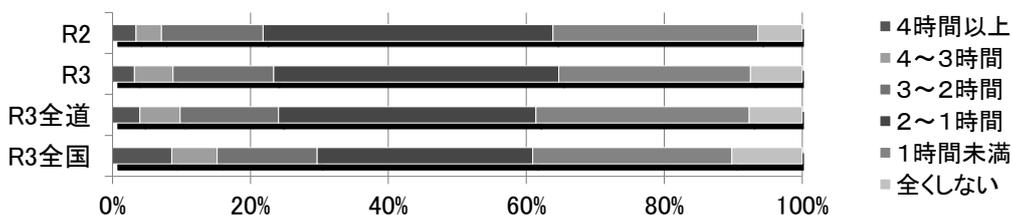
17 家で自分で計画を立てて勉強をしている。(学校の授業の予習や復習を含む)



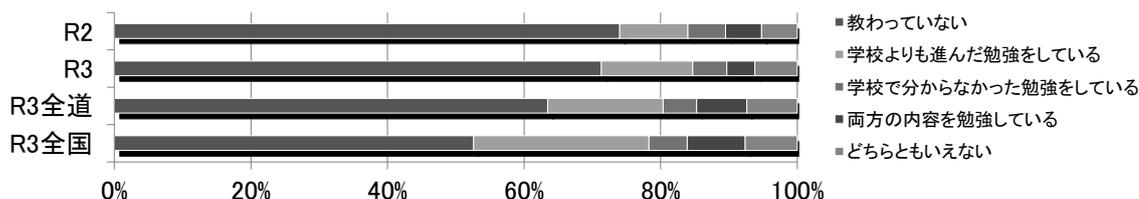
18 普段(月～金)、学校の授業時間以外の1日当たりの学習時間。(学習塾、家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



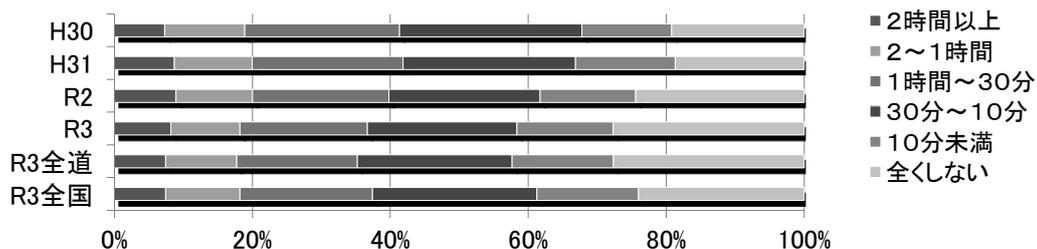
19 休み(土日等)の日の、1日当たりの学習時間。(学習塾、家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



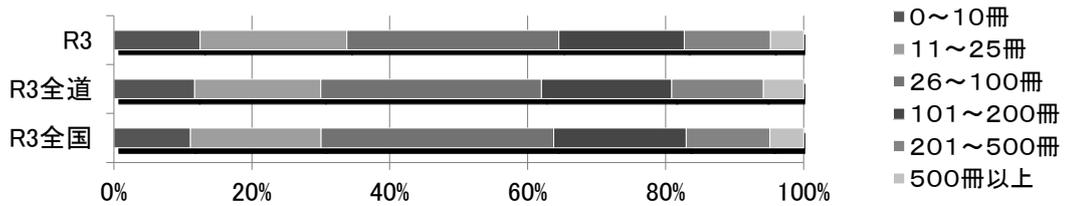
20 学習塾や家庭教師の先生に教わっている。(インターネットを通じて教わっている場合も含む)



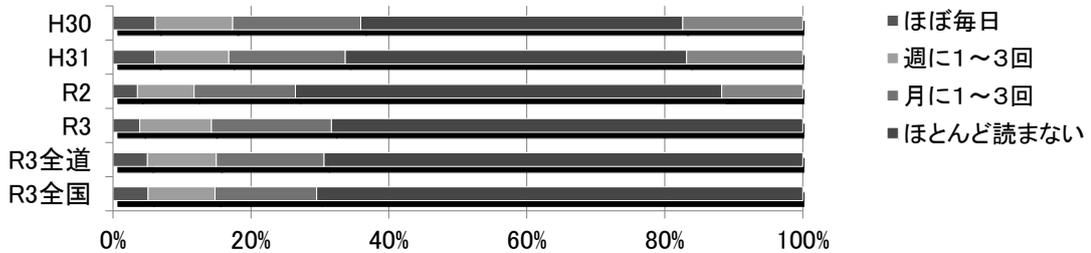
21 普段(月～金)、家や図書館における1日あたりの読書時間。



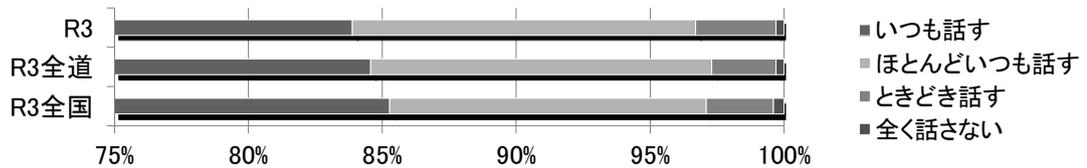
22 家にある本の冊数。(雑誌、新聞、教科書は除く) (新設問)



23 新聞を読んでいる。



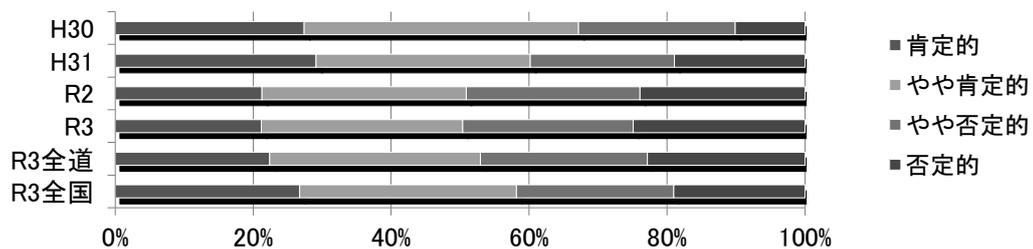
30 家でどれくらい日本語を話しているか。(新設問)



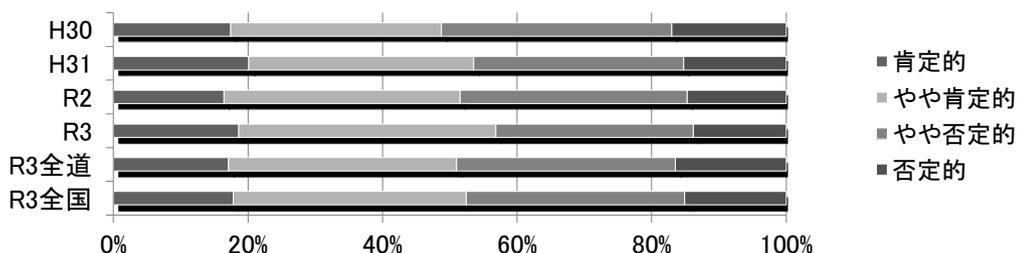
地域や社会への関心

【考察】 「今住んでいる地域の行事に参加している。」と回答した割合が、全国平均を下回っている。社会科や道徳科、総合的な学習の時間等を通じて、郷土についての教育の充実を図る必要がある。「地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある。」と回答した割合は、全国平均を上回っている。

24 今住んでいる地域の行事に参加している。



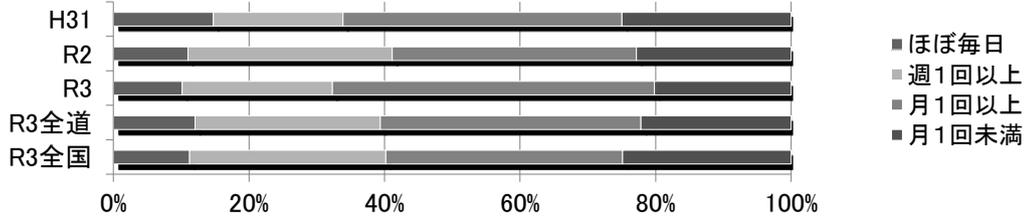
25 地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある。



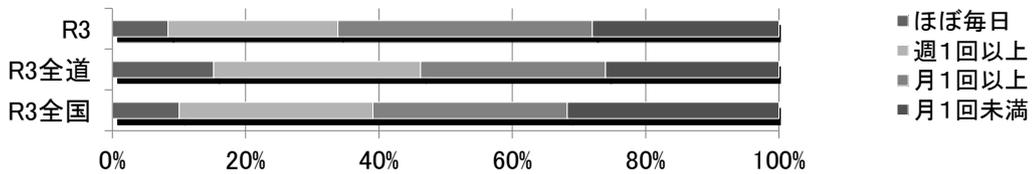
ICTの活用

【考察】 「学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つ。」と回答した割合は90%以上である。一方、「授業でコンピュータなどのICT機器を使用した割合」が「週1回以上」と回答した割合は全国平均より下回っている。1人1台端末が整備されたことにより、効果的に活用した授業改善が求められる。

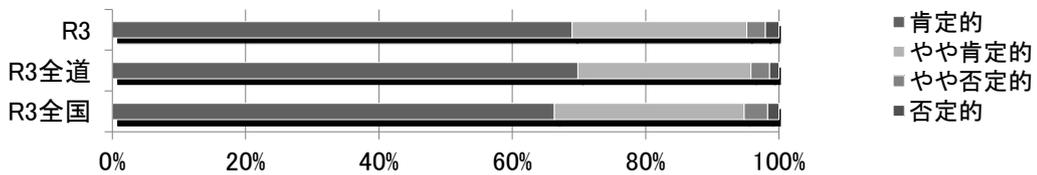
26 5年生までに受けた授業でコンピューターなどのICT機器を使用した割合。



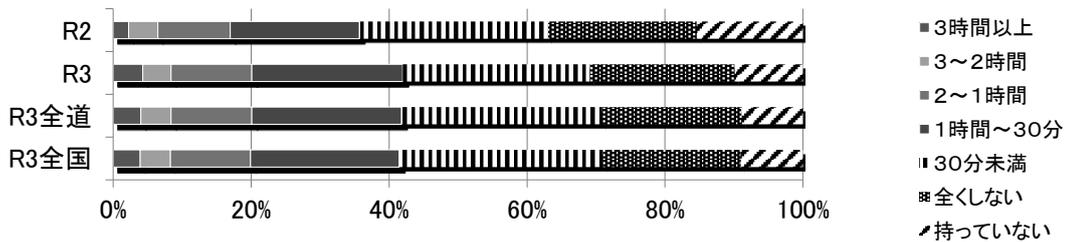
27 学校で、コンピューターなどのICT機器を、友達と意見を交換したり、調べたりするために使用している割合。(新設問)



28 学習の中でコンピューターなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つ。(新設問)



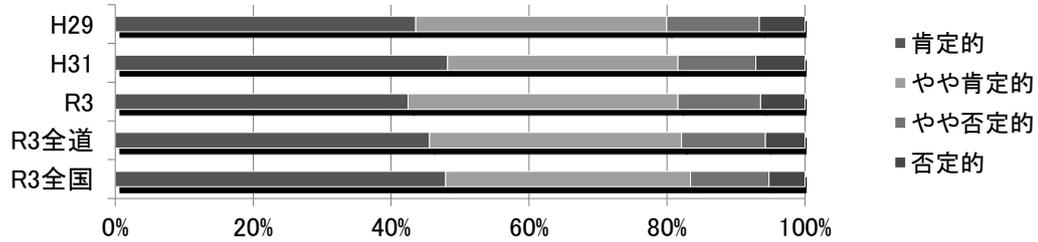
29 普段(月～金)、1日にスマホやコンピュータ等のICT機器を勉強のために使用する時間。



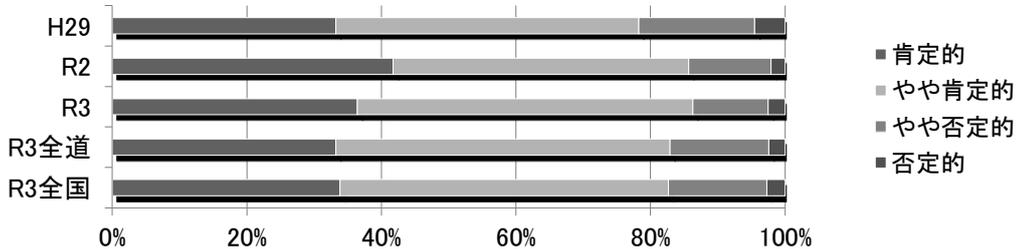
学校生活

【考察】「学級の友達との間で、話し合う活動を通じて、考えを深めたり広げたりすることができている。」と回答した割合が年々上昇している。授業以外の場面でも、対話的な活動や、協働的な学びを推進していることがうかがえる。

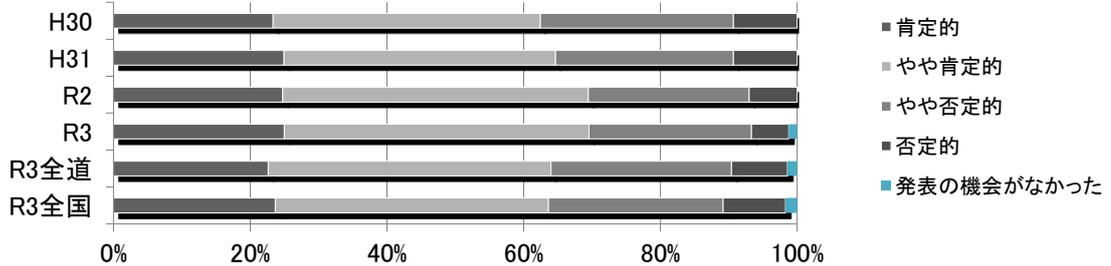
13 学校に行くのは楽しい。



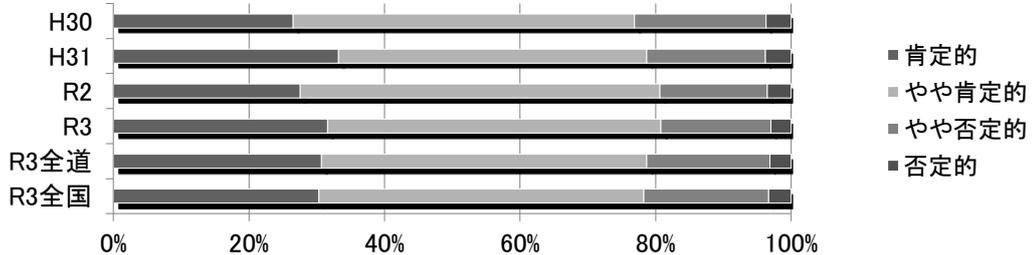
31 5年生までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていた。



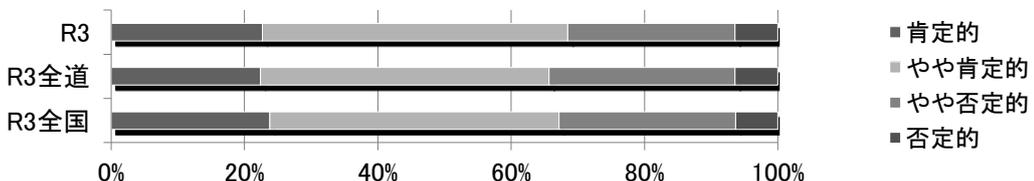
32 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。



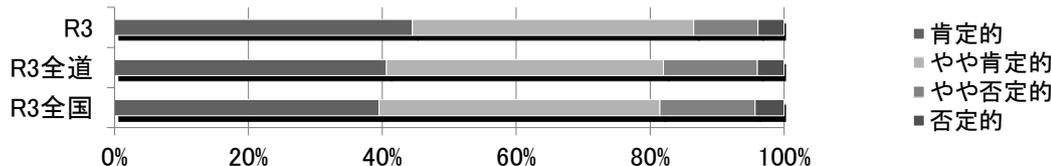
33 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。



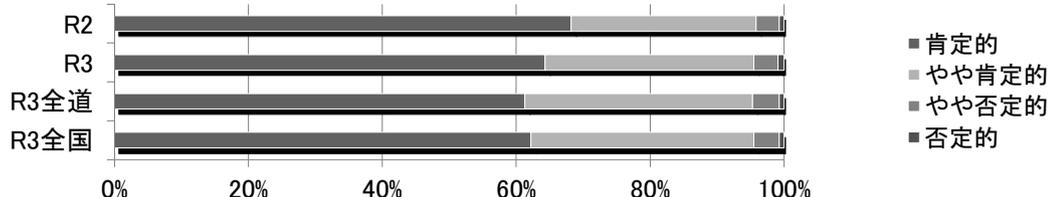
34 5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かし、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行った。（新設問）



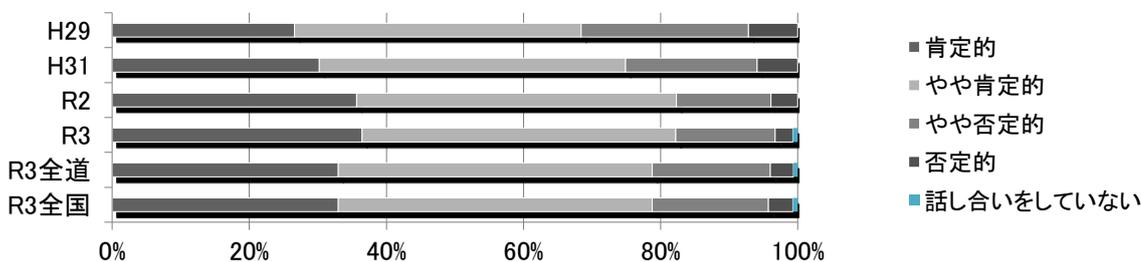
35 5年生までに受けた授業は、自分にあった考え方、教材、学習時間などになっていた。(新設問)



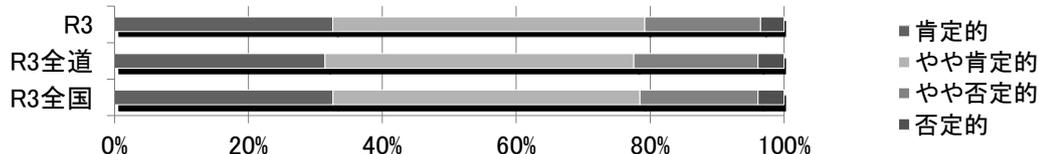
36 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。



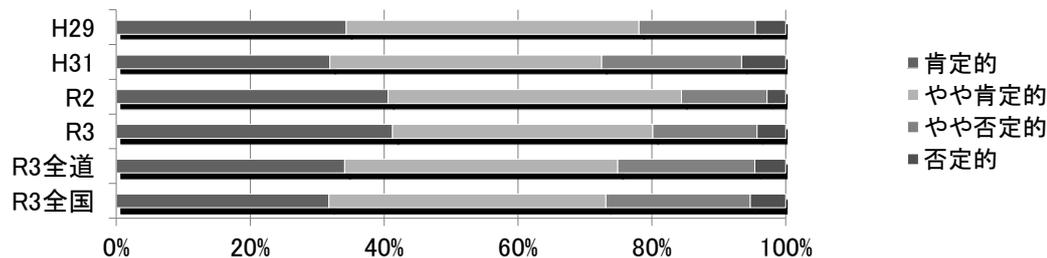
37 学級の友達との間で、話し合う活動を通じて、考えを深めたり広げたりすることができる。



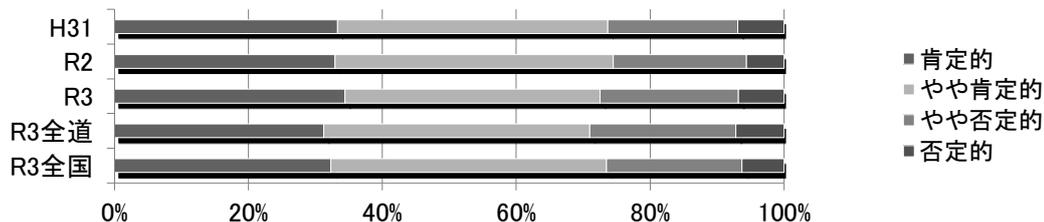
38 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。(新設問)



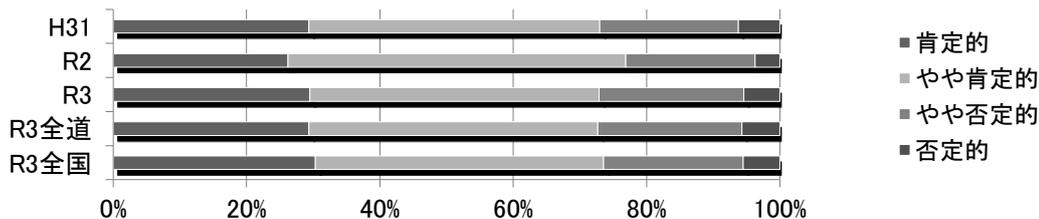
39 総合的な学習の時間では、自分で課題を立て、情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。



40 学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。



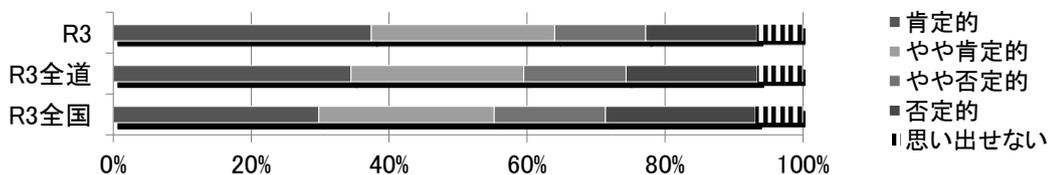
41 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。



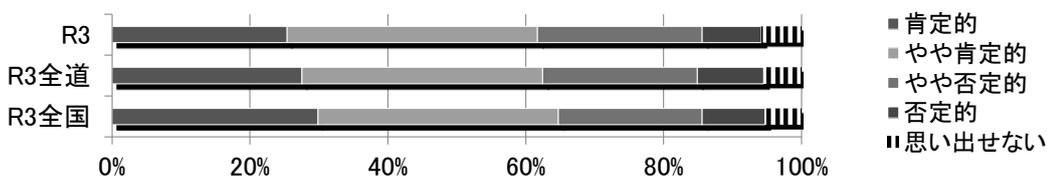
休校期間中

【考察】 「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じた。」と回答した割合が全国平均を上回っている。休校期間中、多くの不安を抱えることで、計画的に学習したり、規則正しく生活したりすることが難しかった様子がうかがえる。

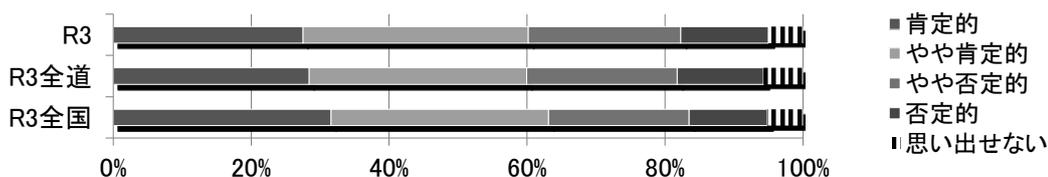
64 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じた。(新設問)



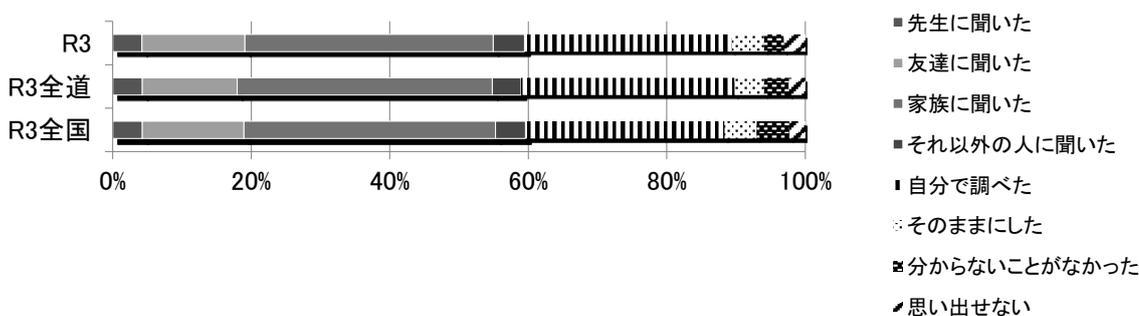
65 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができた。(新設問)



66 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていた。(新設問)

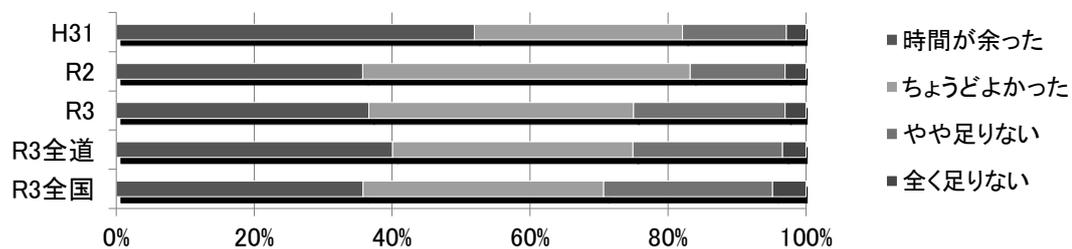


67 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どうしていたか。(新設問)

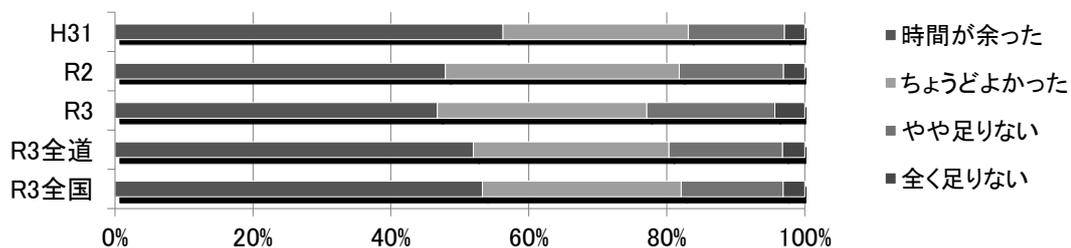


調査問題の解答時間

68 調査問題（国語）の解答時間は十分だった。



69 調査問題（算数）の解答時間は十分だった。



令和3年度全国学力・学習状況調査生徒質問紙（中学3年生徒）調査の結果と考察

苫小牧市教育委員会

中学3年生徒

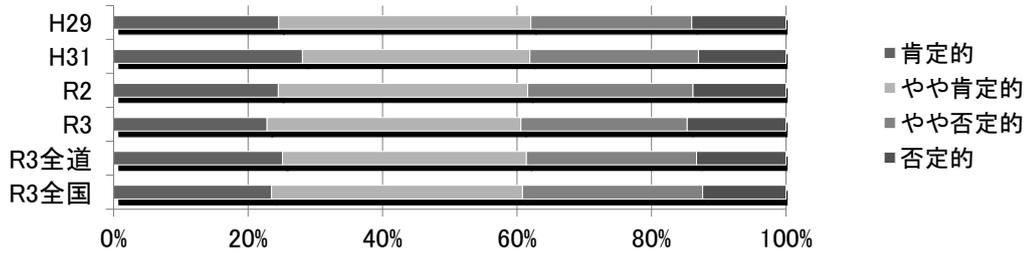
・令和2年度は参考値です。

- ①：肯定的な回答（している・当てはまる・そう思う）
- ②：やや肯定的な回答（どちらかといえば、している・当てはまる・そう思う）
- ③：やや否定的な回答（あまりしていない、どちらかといえば、当てはまらない・そう思わない）
- ④：否定的な回答（まったくしていない・当てはまらない・そう思わない）

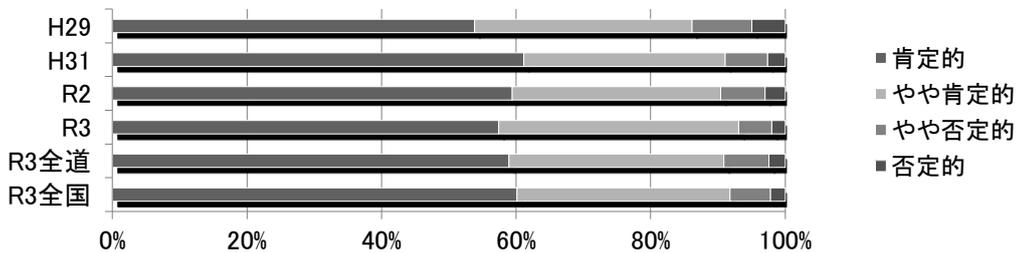
学習に対する興味・関心等 (国語)

【考察】「国語の勉強は大切だと思う。」と回答した割合が、全国平均を上回っている。授業においては、「目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしている。」「文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりしている。」と回答した割合が全国平均を下回っている。主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が求められる。

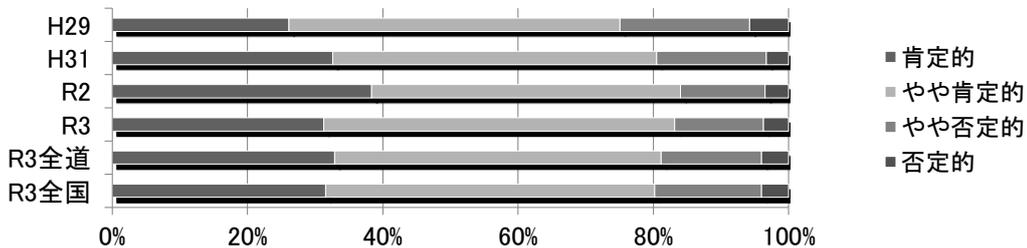
43 国語の勉強は好き。



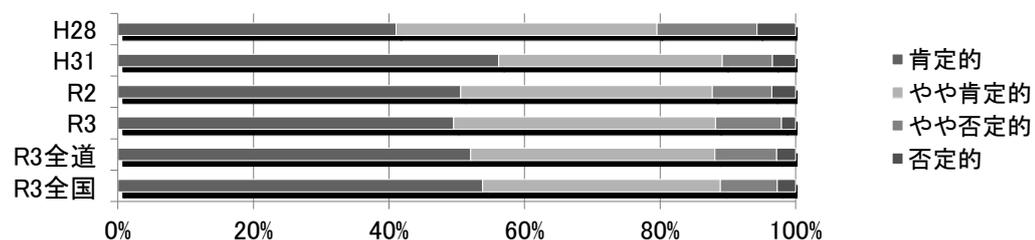
44 国語の勉強は大切だと思う。



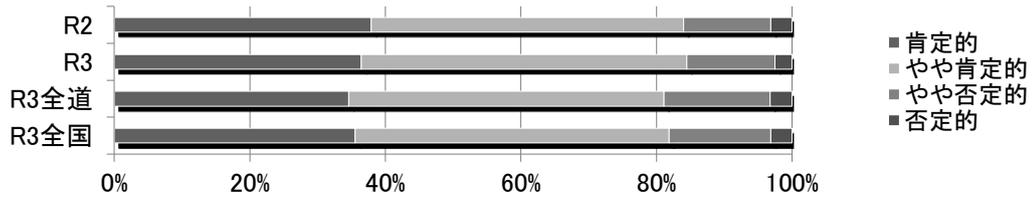
45 国語の授業の内容はよく分かる。



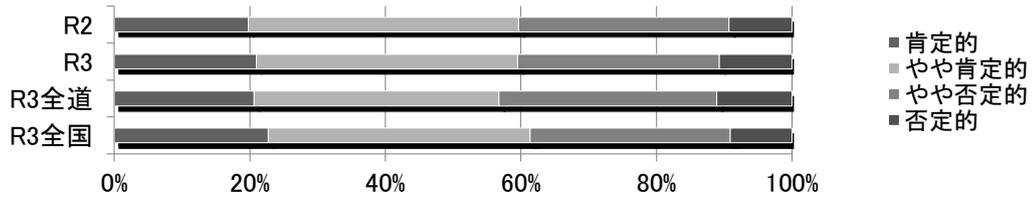
46 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



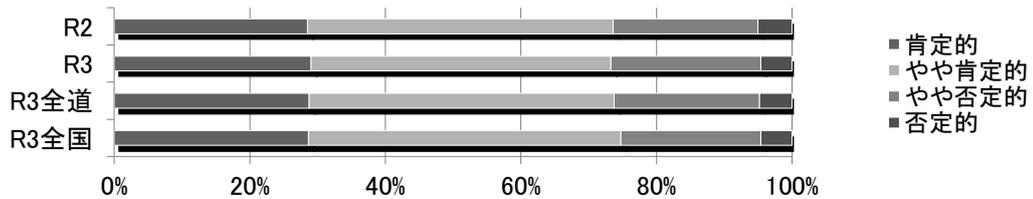
47 国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしている。



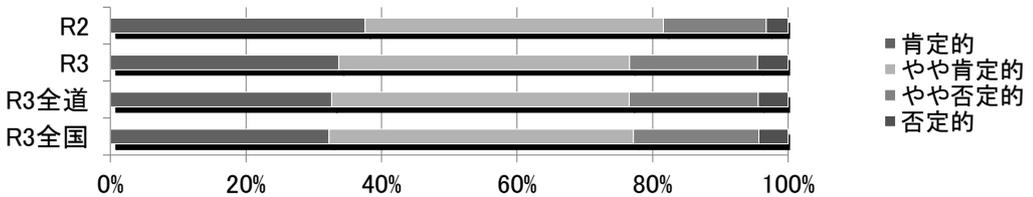
48 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしている。



49 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしている。

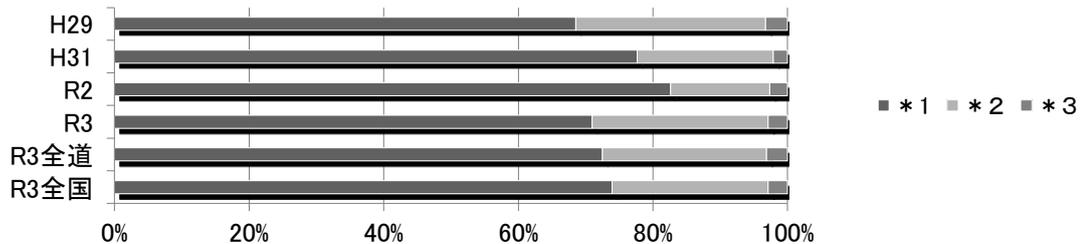


50 国語の授業では、目的に応じて、文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりしている。



51 今回の国語の問題について、文章を書く問題でどのように解答したか。

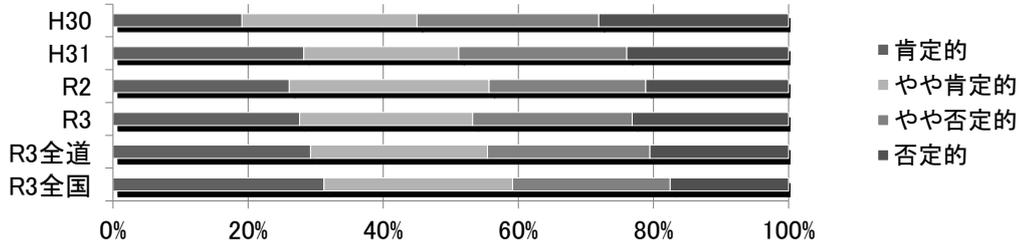
- * 1 : 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
- * 2 : 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた。
- * 3 : 書く問題は全く解答しなかった。



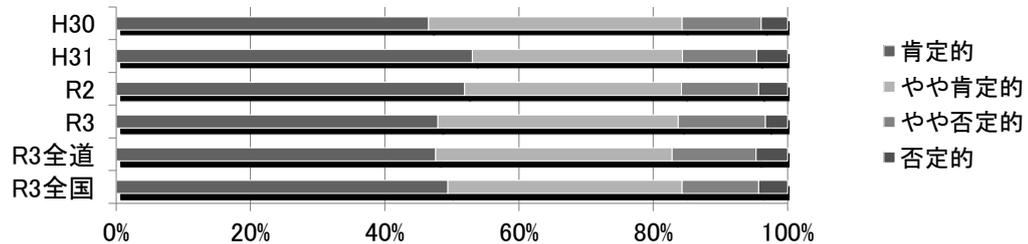
**学習に対する興味・関心等
(数学)**

【考察】 「数学の勉強は大切だと思う。」と回答した割合は80%を超え、「数学の授業の内容はよく分かる。」と回答した割合も、70%を超えている。一方、「今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題」において、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。」と回答した割合が全国平均を下回っていることから、授業の中で、思考・判断・表現を位置付けた振り返りの充実が求められる。

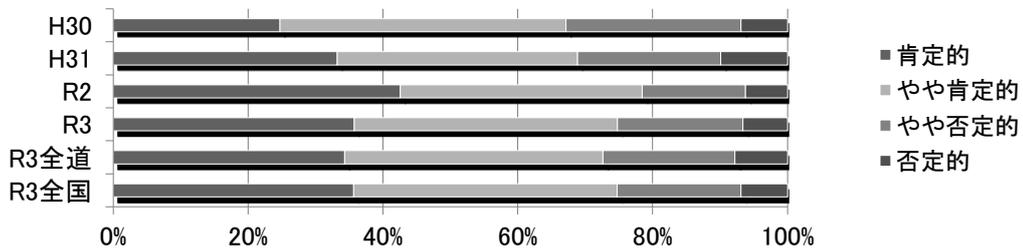
52 数学の勉強は好き。



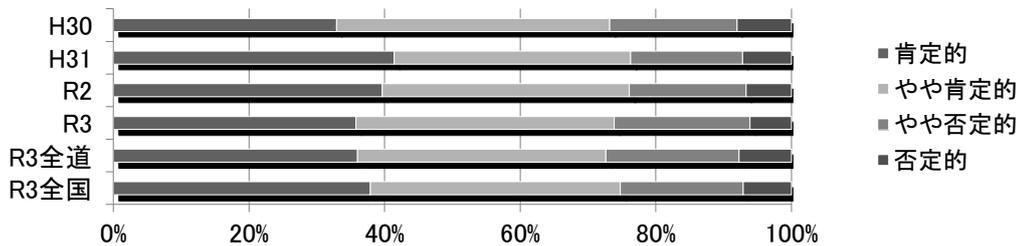
53 数学の勉強は大切だと思う。



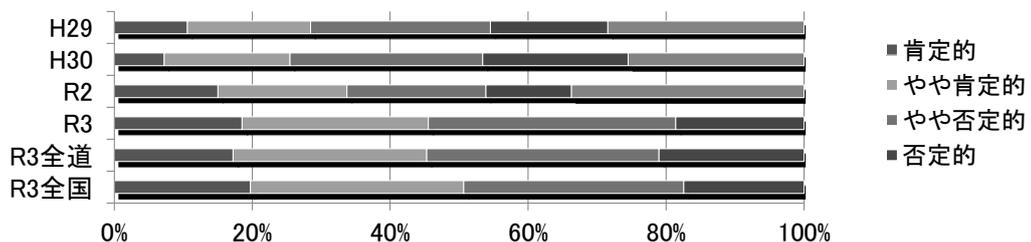
54 数学の授業の内容はよく分かる。



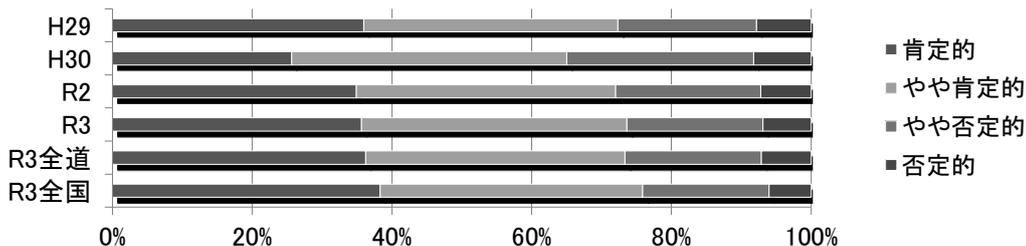
55 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



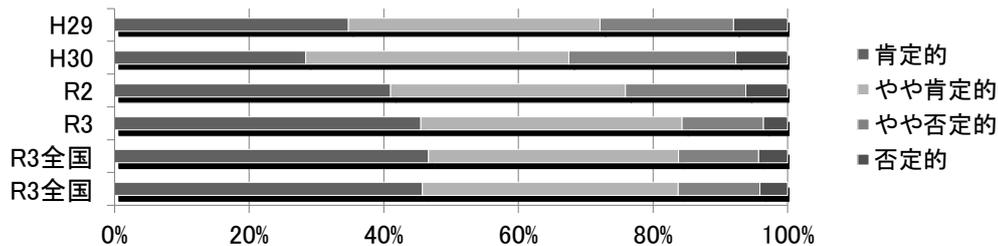
56 数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。



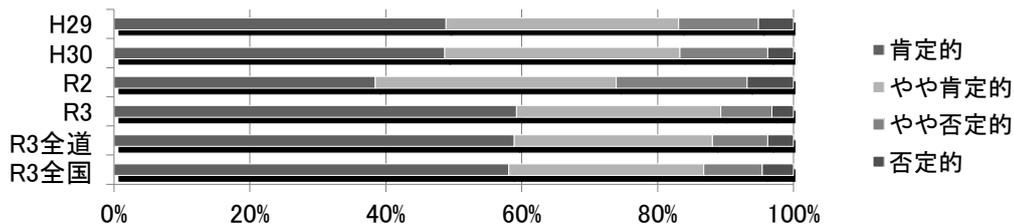
57 数学の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法で考える。



58 数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。

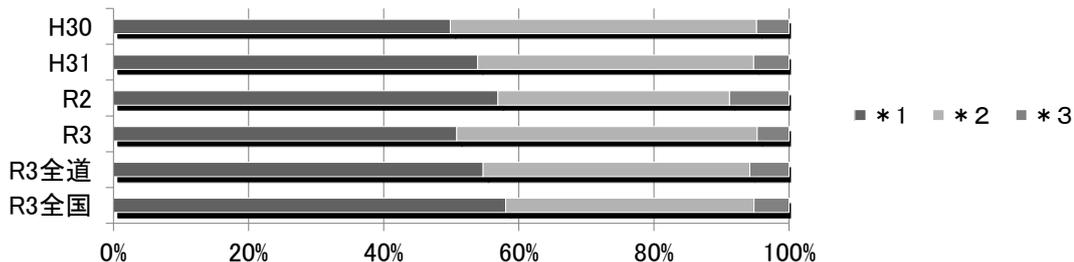


59 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。



60 今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題でどのように解答したか。

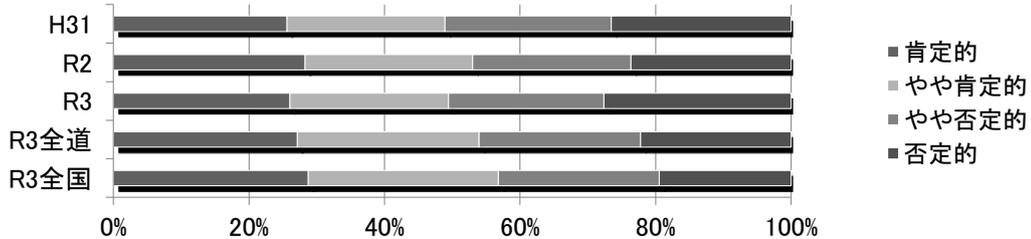
- * 1 : 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
- * 2 : 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあった。
- * 3 : 書く問題は全く解答しなかった。



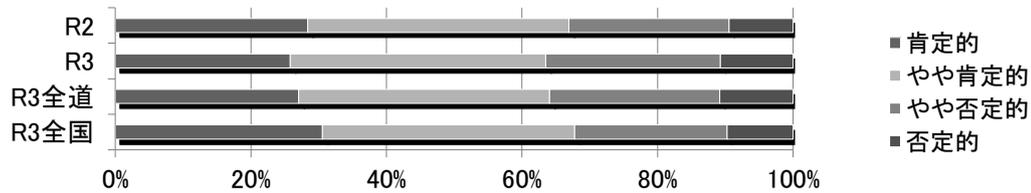
**学習に対する興味・関心等
(英語・道徳)**

【考察】 「英語の授業では、英語で話したり書いたりして、自分自身の考えや気持ちを伝えあうことができた。」と回答した割合が全国平均を下回っている。授業において、言語活動を通じて自分の考えや気持ちを表現する場面をより多く設定する必要がある。一方、「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。」と回答した割合が全国平均を上回っている。考え、議論する道徳の実践が図られていることがうかがえる。

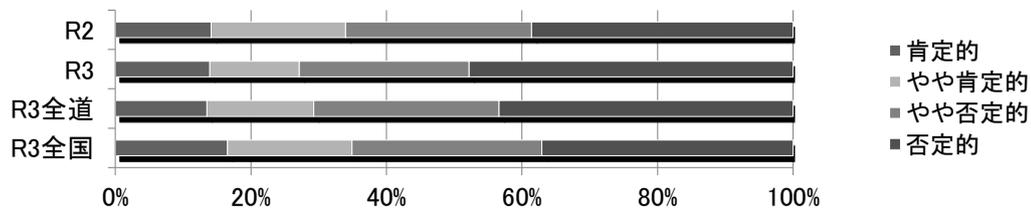
61 英語の勉強は好き。



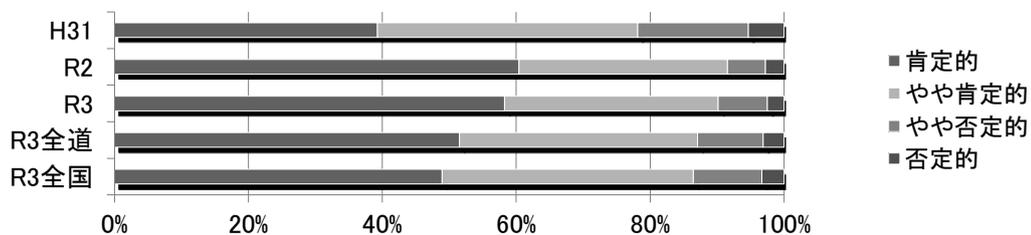
62 1, 2年生のときに受けた英語の授業では、英語で話したり書いたりして、自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができた。



63 これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にあった。(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど)



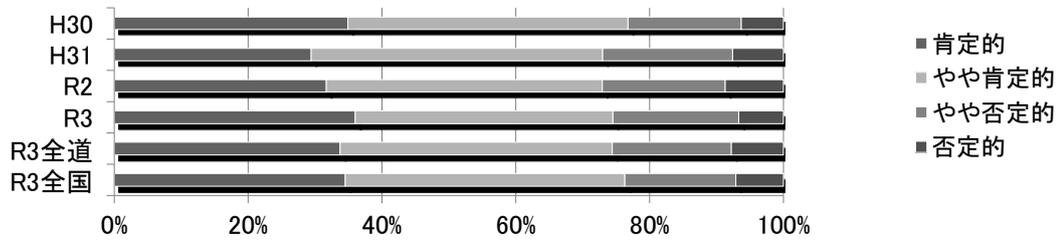
42 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。



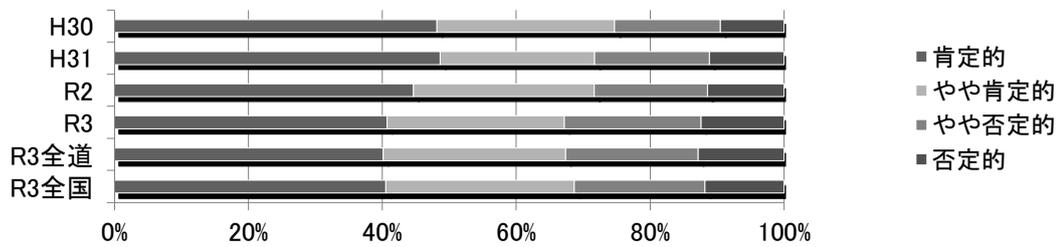
規範意識・自己有用感

【考察】 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。」という質問に否定的な回答をした割合は約40%である。また、「自分の思っていることや感じていることを言葉で表すことができる。」という質問に否定的な回答をした割合は約30%である。日常的な授業や、学校行事等で、お互いを尊重し合い、他者の価値を認められる場面をより多く設定するなどして、自己有用感を育む取組を継続していく必要がある。

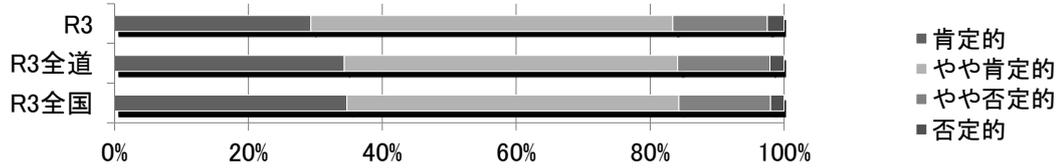
6 自分には、よいところがあると思う。



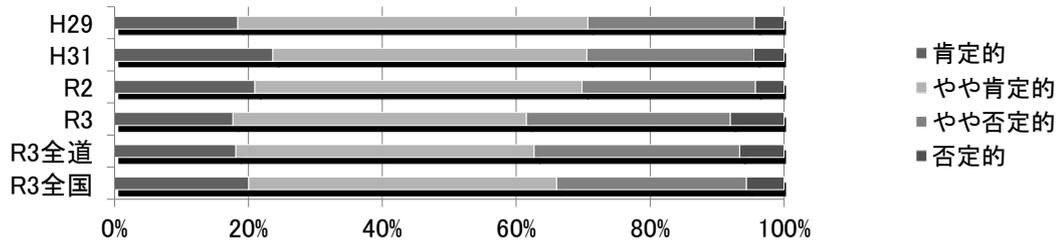
7 将来の夢や目標を持っている。



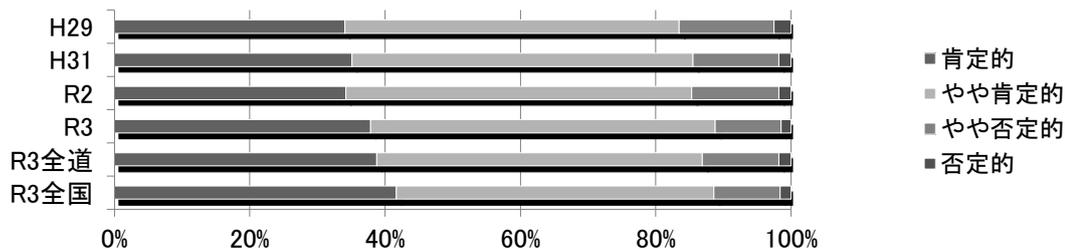
8 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。(新設問)



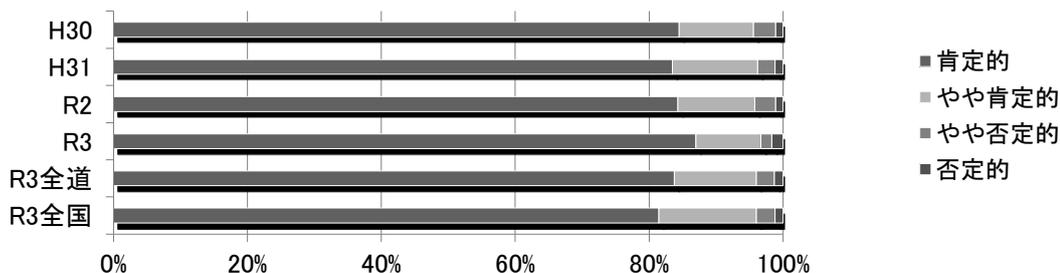
9 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。



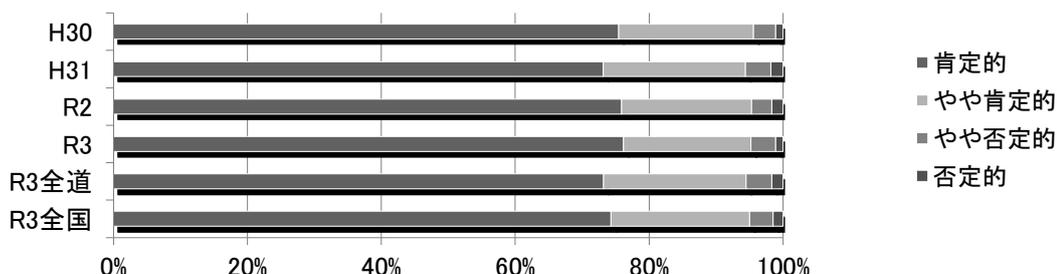
10 人が困っているときは、進んで助けている。



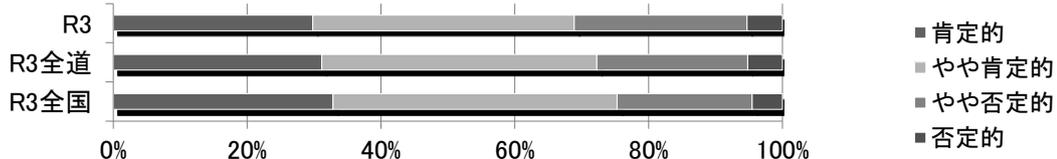
11 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。



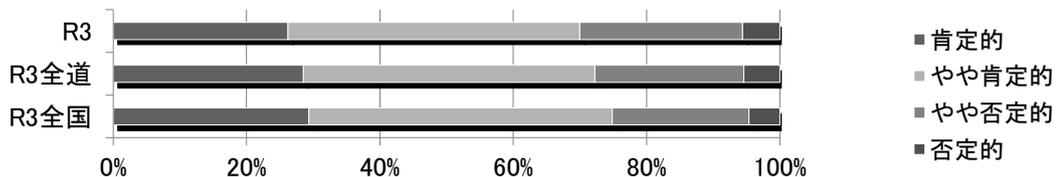
12 人の役に立つ人間になりたいと思う。



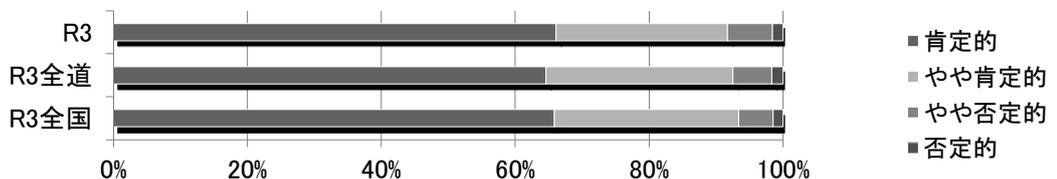
14 自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる。(新設問)



15 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。(新設問)



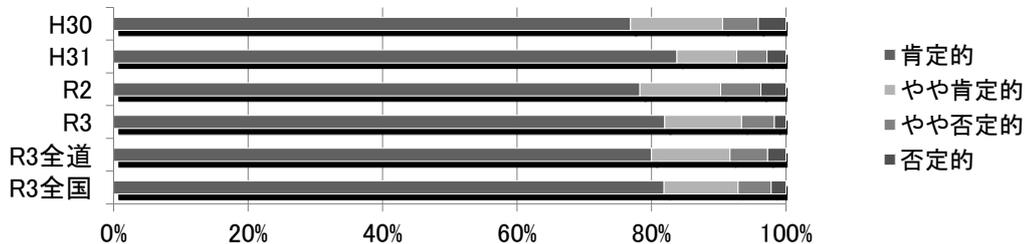
16 友達と協力するのは楽しいと思う。(新設問)



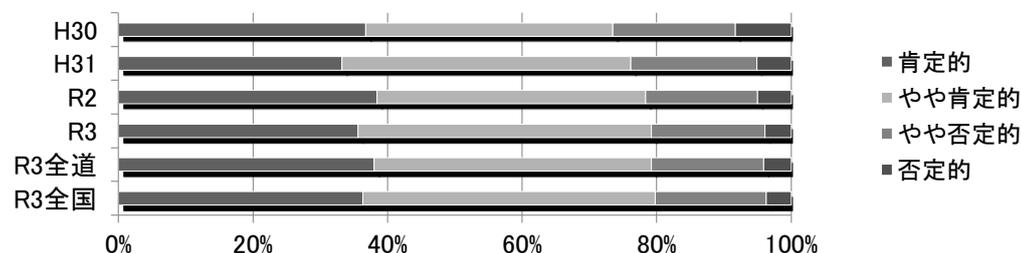
生活習慣・学習習慣

【考察】 「1日当たりの学習時間」が「2時間以上」と回答した割合が全国平均を下回っている。家庭学習の見直しを行い、基本的な学習習慣を再確認する必要がある。一方、「1日当たりのテレビゲームの利用時間」が「2時間以上」と回答した割合が全国平均を上回っている。情報機器の利用については、家庭や地域と連携し、継続した取組が必要である。

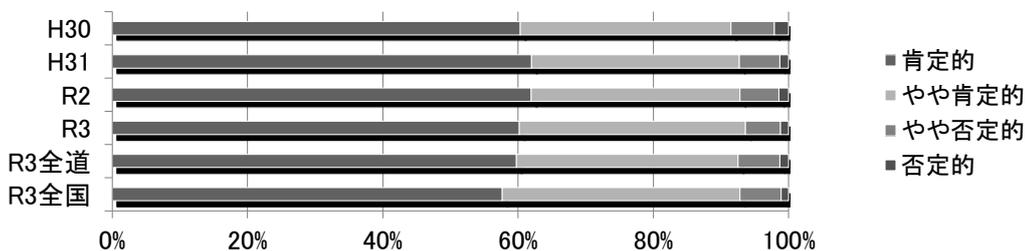
1 朝食を毎日食べている。



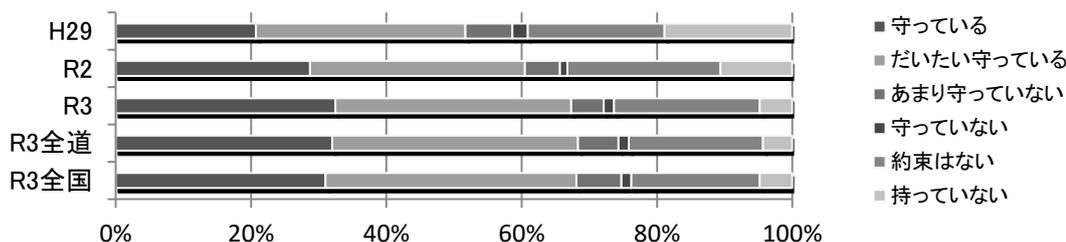
2 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。



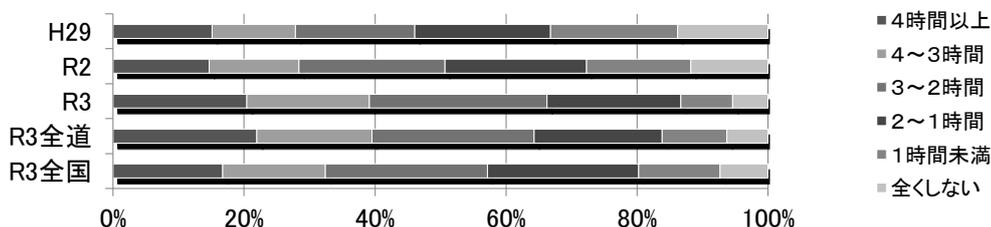
3 毎日、同じくらいの時刻に起きている。



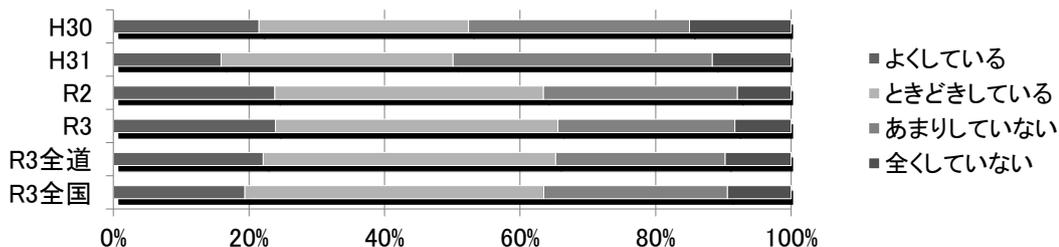
4 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。



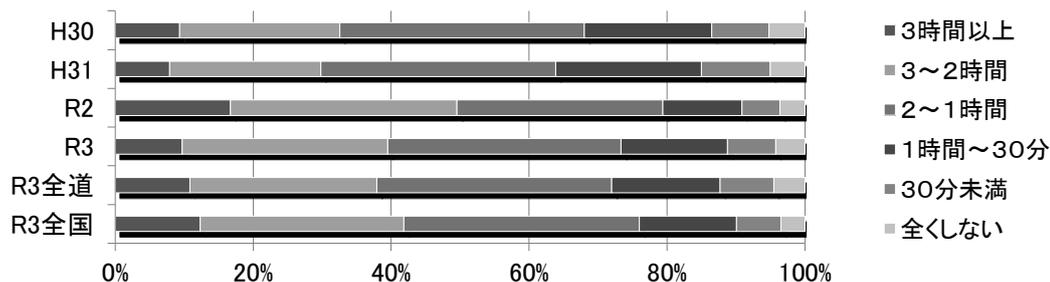
5 普段（月～金）、1日当たりのテレビゲームの利用時間。（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）



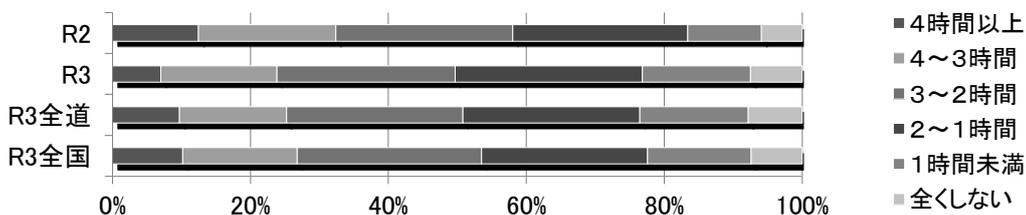
17 家で自分で計画を立てて勉強をしている。(学校の授業の予習や復習を含む)



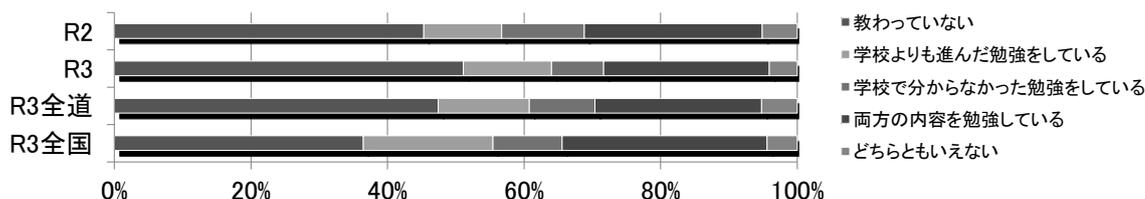
18 普段(月～金)、学校の授業時間以外の1日当たりの学習時間。(学習塾、家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



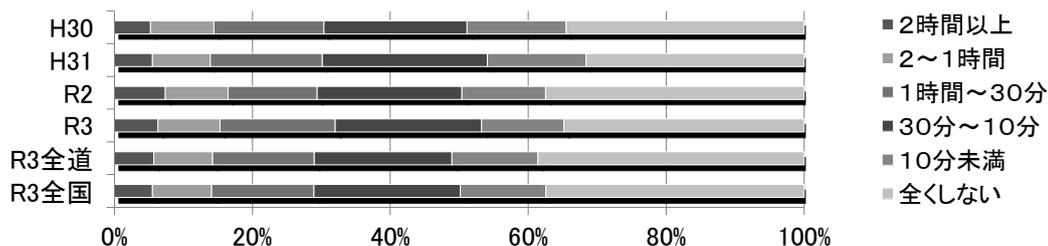
19 休み(土日等)の日の、1日当たりの学習時間(学習塾、家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



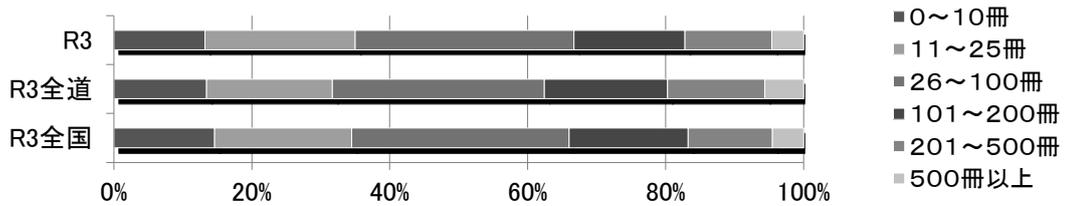
20 学習塾や家庭教師の先生に教わっている。(インターネットを通じて教わっている場合も含む)



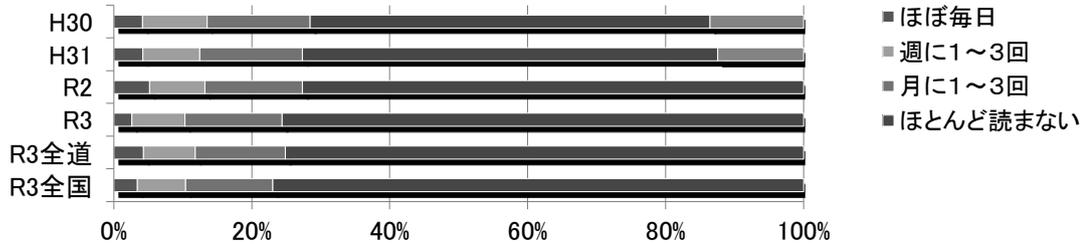
21 普段(月～金)、家や図書館における1日あたりの読書時間。



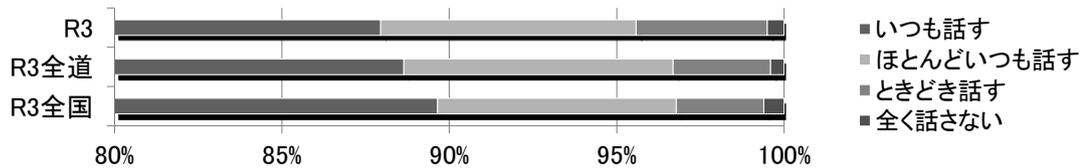
22 家にある本の冊数。(雑誌、新聞、教科書は除く) (新設問)



23 新聞を読んでいる。



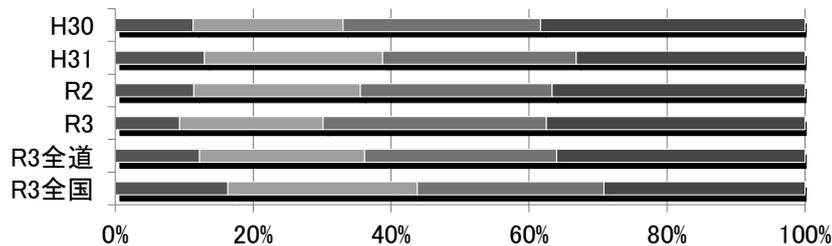
30 家でどれくらい日本語を話しているか。(新設問)



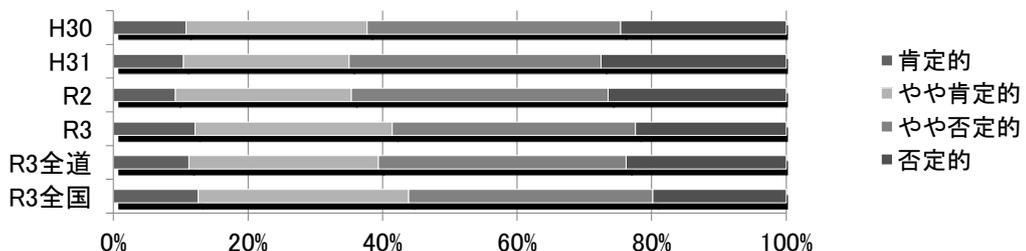
地域や社会への関心

【考察】 「今住んでいる地域の行事に参加している。」と肯定的に回答している割合が全国平均より10%以上回っている。同様に「地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある。」と回答した割合も全国平均を下回っている。社会に開かれた教育課程の実現を目指し、学校と地域の連携をさらに深めていく必要がある。

24 今住んでいる地域の行事に参加している。



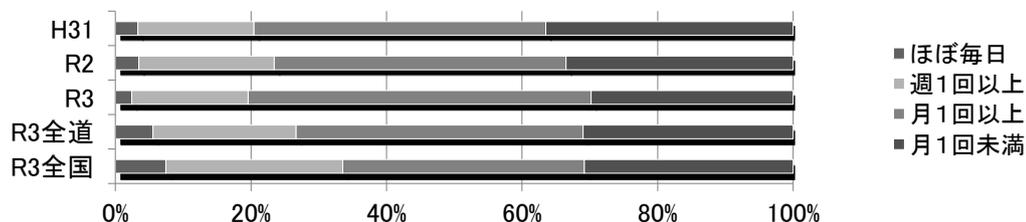
25 地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある。



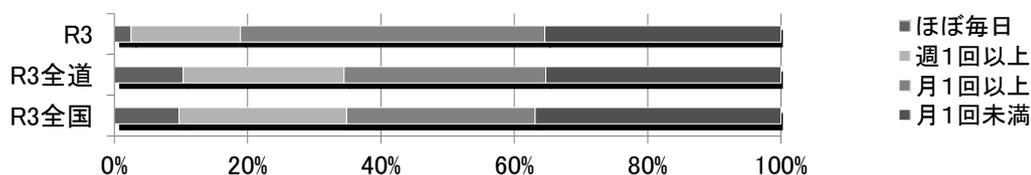
ICTの活用

【考察】「学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つ。」と回答した割合は90%以上である。その一方で「授業でコンピュータなどのICT機器を使用した割合。」が「週1回以上」と回答した割合は全国平均より10%以上下回っている。GIGAスクール構想が目指す、「個別最適化された学び」「協働的な学び」をさらに推進し、授業においてICT機器を効果的に活用することが求められる。

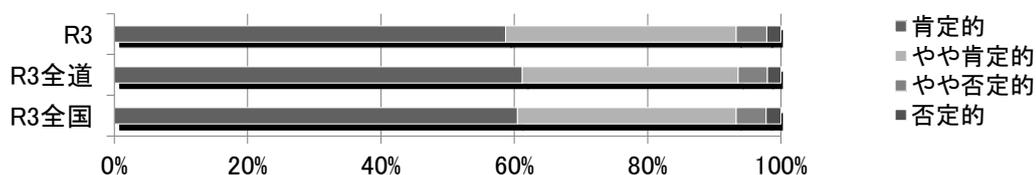
26 1, 2年生のときに受けた授業でコンピューターなどのICT機器を使用した割合。



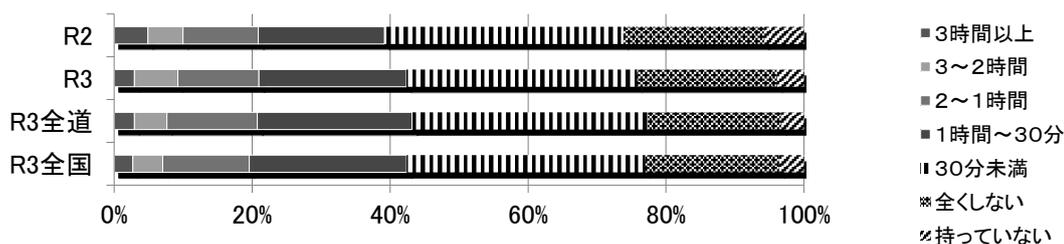
27 学校で、コンピューターなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために使用している割合。(新設問)



28 学習の中でコンピューターなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つ。(新設問)



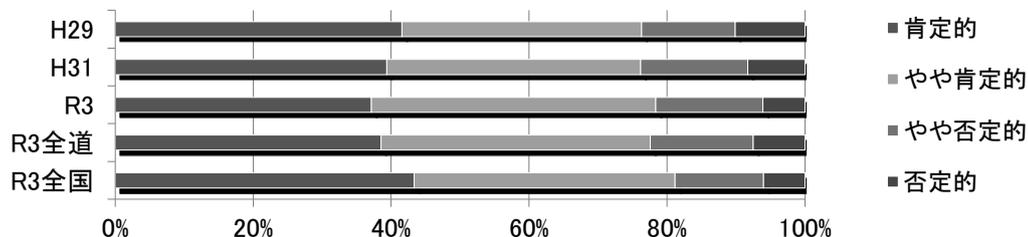
29 普段(月～金)、1日にスマホやコンピュータ等のICT機器を勉強のために使用する時間。



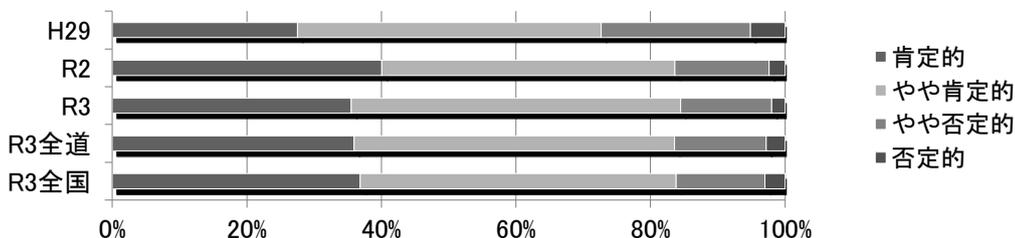
学校生活

【考察】「総合的な学習の時間では、自分で課題を立て、情報を集め整理して調べたことを発表するなどの学習内容に取り組んでいる。」と回答した割合が全国平均を上回っている。その一方、「各教科などで学んだことを生かし、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行った。」と回答した割合が全国平均を下回っていることから、各教科において学びを実感できる振り返りの充実を図り、学習内容を関連付けることや一般化することが求められる。

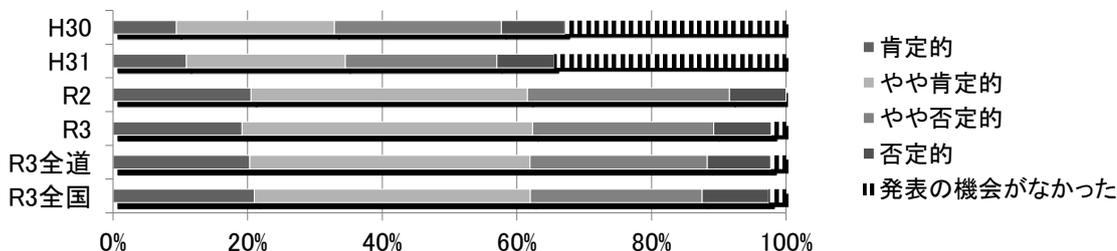
13 学校に行くのは楽しい。



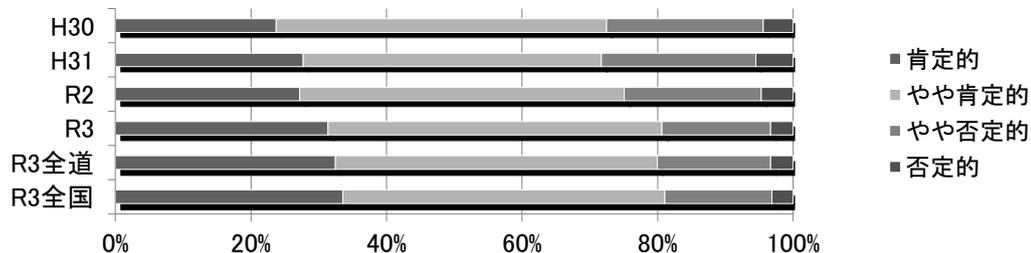
31 1, 2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていた。



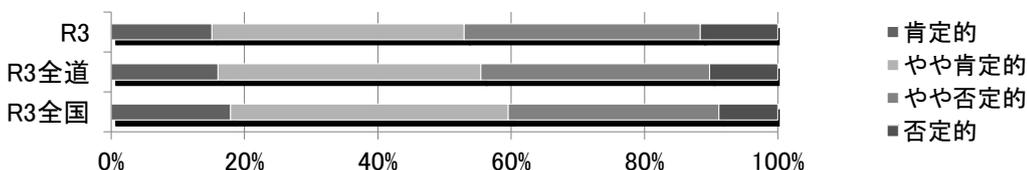
32 1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。



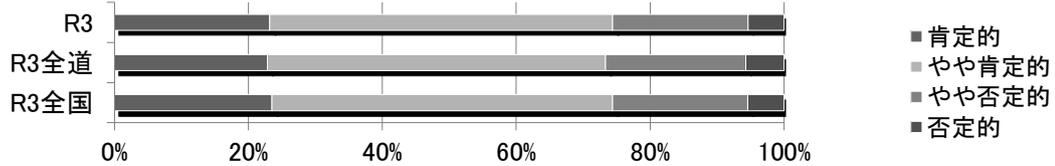
33 1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。



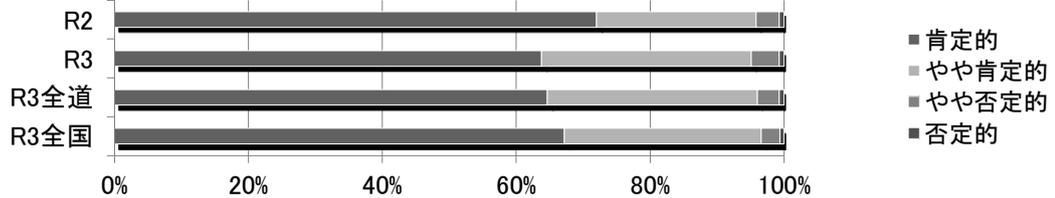
34 1, 2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かし、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行った。(新設問)



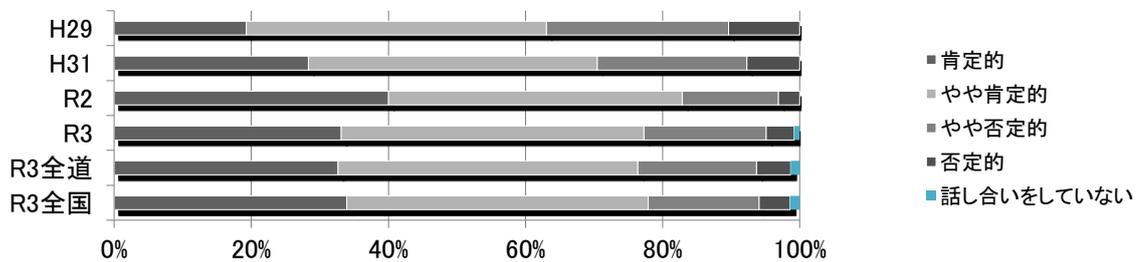
35 1, 2年生のときに受けた授業は、自分にあった考え方、教材、学習時間などになっていた。(新設問)



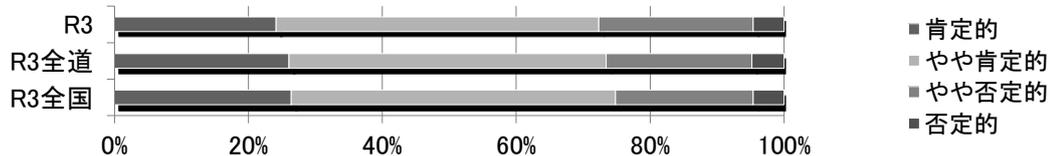
36 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。



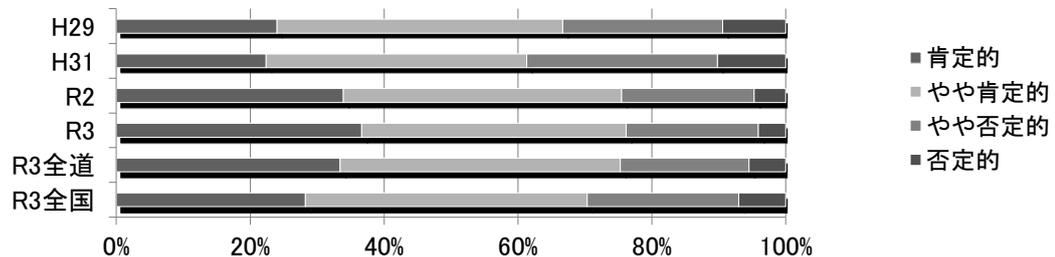
37 学級の生徒との間で、話し合う活動を通じて、考えを深めたり広げたりすることができる。



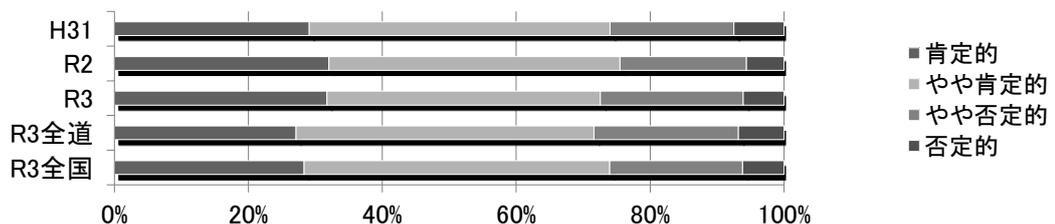
38 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。(新設問)



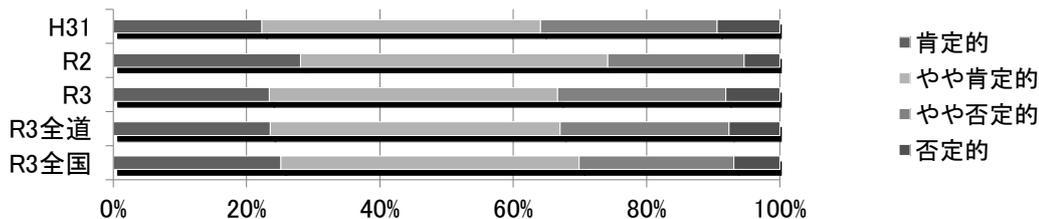
39 総合的な学習の時間では、自分で課題を立て、情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。



40 学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。



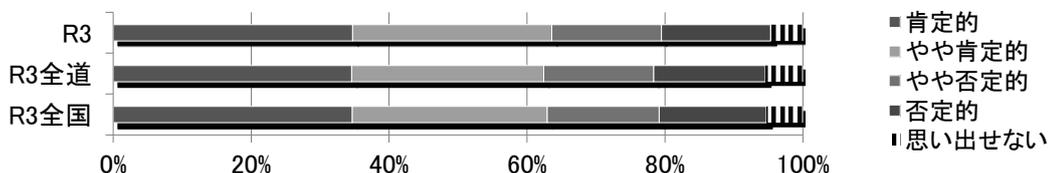
41 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。



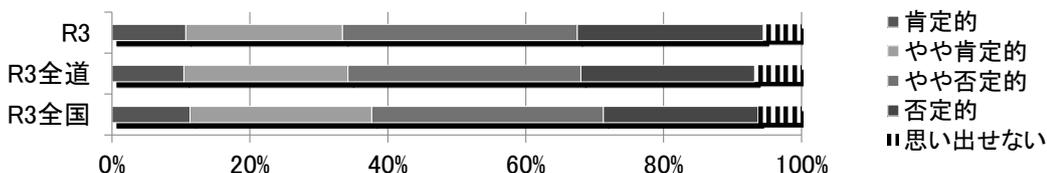
休校期間中

【考察】 「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じた。」と回答した割合が全国平均とほぼ同等だった。その一方、「計画的に学習を続けることができた。」と回答した割合が全国平均を下回っている。日常の教育活動の中で、見通しをもって主体的に学習に取り組む力を身に付けさせる必要がある。

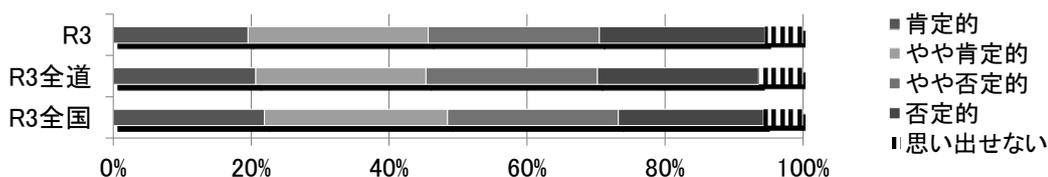
64 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じた。(新設問)



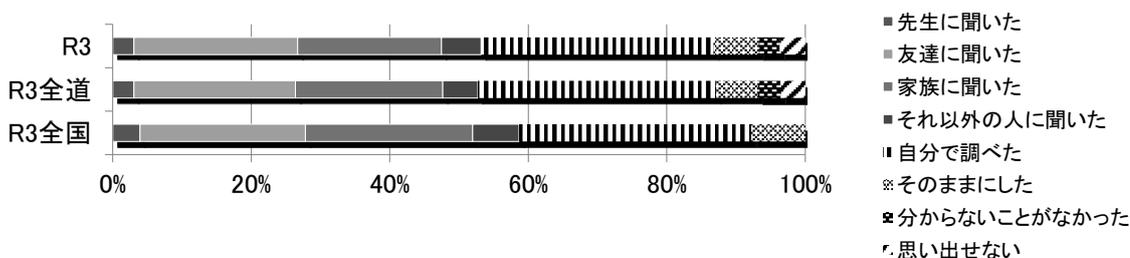
65 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができた。(新設問)



66 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていた。(新設問)

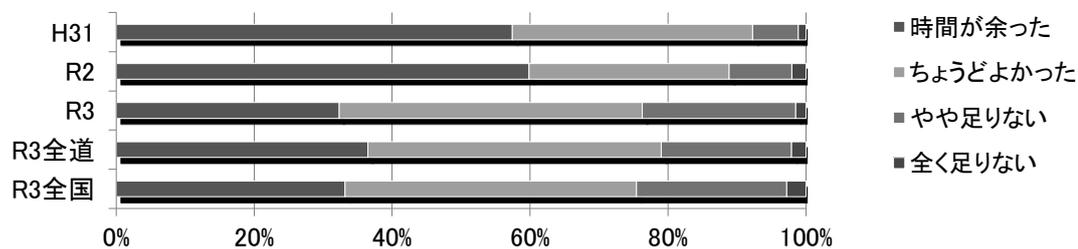


67 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どうしていたか。(新設問)

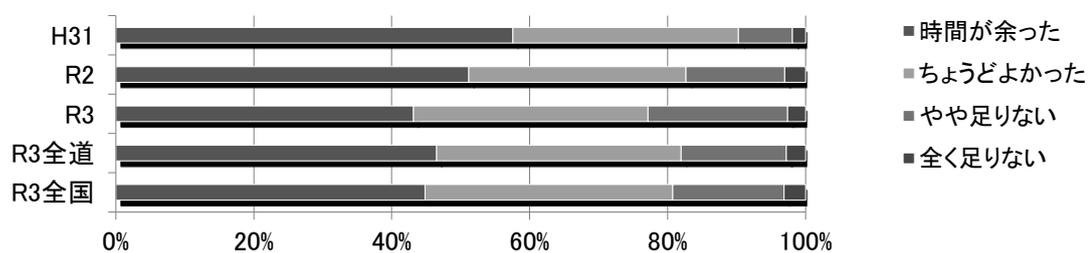


調査問題の解答時間

68 調査問題（国語）の解答時間は十分だった。



69 調査問題（数学）の解答時間は十分だった。



令和3年度全国学力・学習状況調査学校質問紙調査の結果と考察

苫小牧市教育委員会

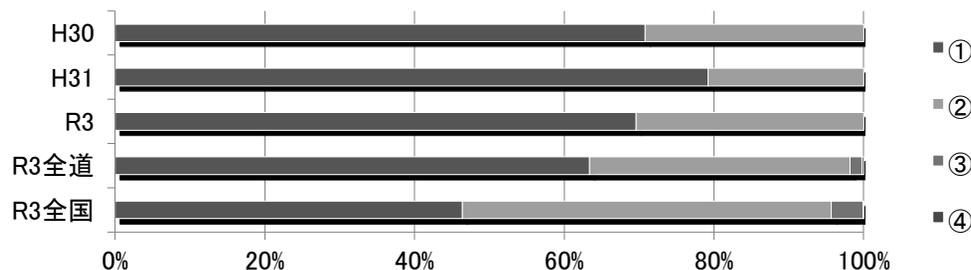
学力向上に向けた取組

〈家庭学習〉

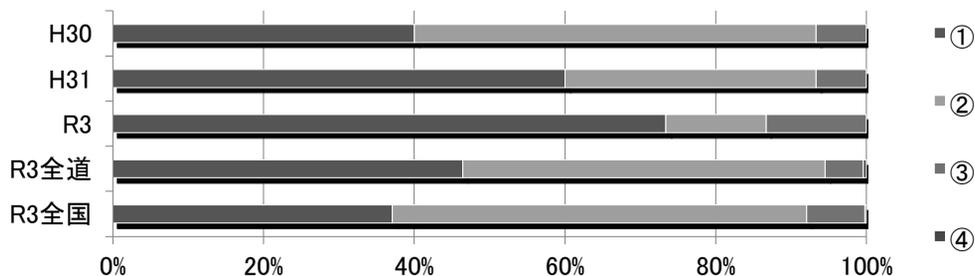
- ◆ 家庭学習の取組について、学習方法等を具体例を挙げながら教えた。

①よく行った ②どちらかといえば行った ③あまり行っていない ④全く行っていない

【小学校】



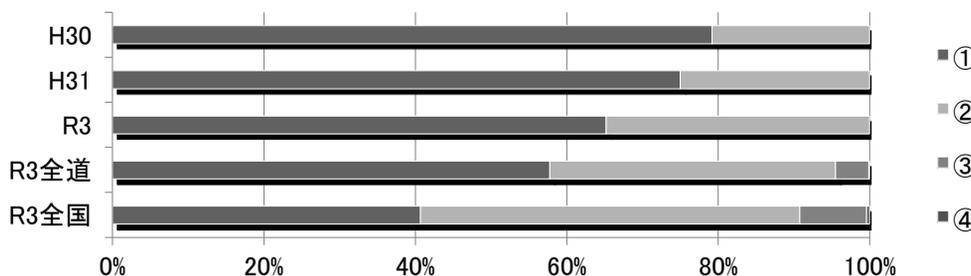
【中学校】



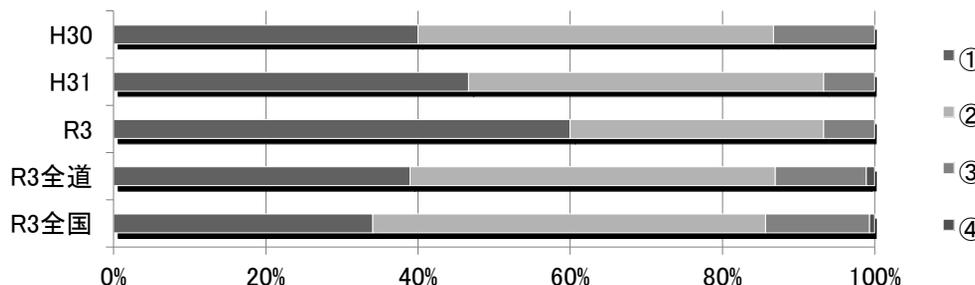
- ◆ 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図った。（教科共通）

①よく行った ②どちらかといえば行った ③あまり行っていない ④全く行っていない

【小学校】



【中学校】



【考察】

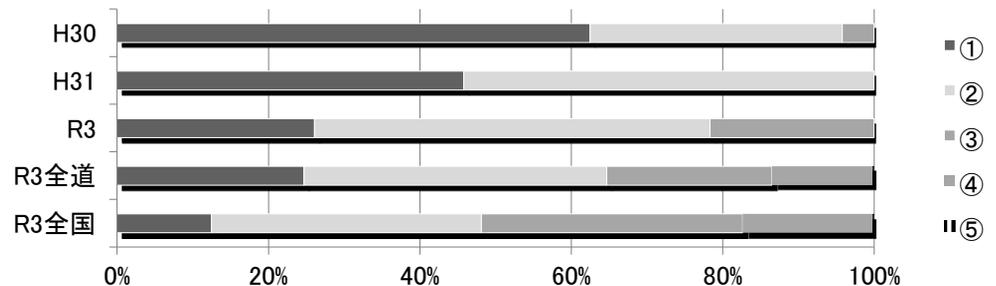
小・中学校とも、「家庭学習の取組について、学習方法等を具体例を挙げながら教えた。」「家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図った。」と回答した割合が、全国平均を大きく上回っている。児童生徒に対して、学習方法等を具体的に指導するとともに、家庭に対して、学習習慣の定着を啓発する取組の成果がみられる。また、教職員間で、家庭学習の課題の課し方の共通理解を図ることで、児童生徒にとって適切な課題を課すことができている。

〈小中連携・全国学力・学習状況調査の結果の活用〉

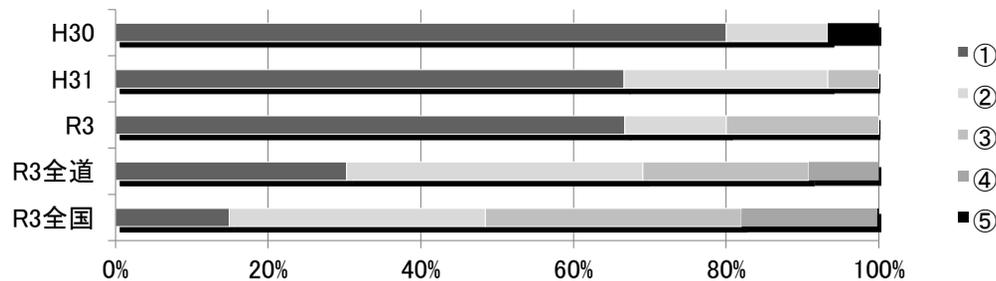
- ◆ 前年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣の小（中）学校と成果や課題を共有した。

①よく行った ②どちらかといえば行った ③あまり行わなかった ④全く行わなかった ⑤その他、無回答

【小学校】



【中学校】



【考察】

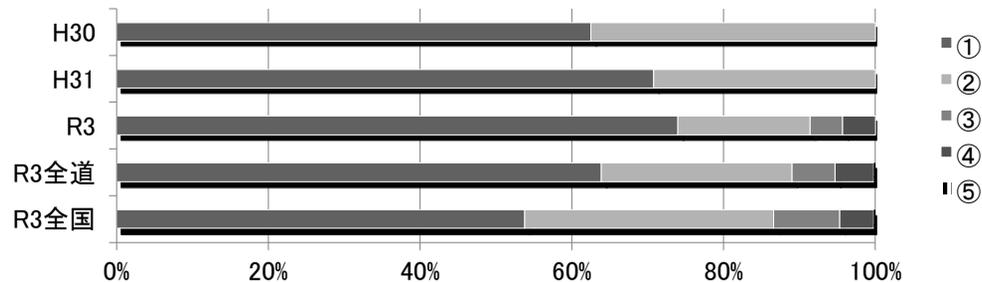
小・中学校とも、「よく行った」または「どちらかといえば行った」と回答した割合が、全国平均を上回っている。各学校で調査結果を分析し、分析結果をエリア内の小・中学校で成果と課題を共有することで、各学校の授業改善に反映させる体制が定着していることがうかがえる。各中学校区における学校教育力向上エリア会議の取組の成果がみられる。

I C T 機器の活用

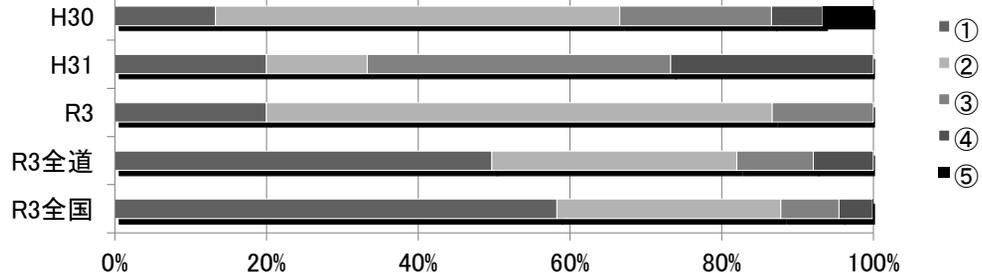
- ◆ 調査対象の児童生徒に対する指導において、前年度に、教員が大型提示装置（プロジェクター、電子黒板等）等の I C T を活用した授業を 1 クラス当たりどの程度行ったか。

①ほぼ毎日 ②週 1 回以上 ③月 1 回以上 ④月 1 回未満 ⑤その他、無回答

【小学校】



【中学校】



【考察】

小学校においては、I C T 機器を「ほぼ毎日」活用していると回答した割合が全国平均を上回っており、積極的に活用していることがうかがえる。中学校においては、「ほぼ毎日」と回答した割合は全国平均を大きく下回っているが、「週 1 回以上」と回答した割合も含めると全国平均とほぼ同等となっている。1 人 1 台端末の活用も含め、更なる I C T 機器の効果的な活用が求められる。